

CD/チューナー・WMA/MP3/WAV対応・  
DSPメインユニット

# DEH-P088

取扱説明書

目次 4ページ

**carrozzeria**

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

# 警告

## [異常時の処置]

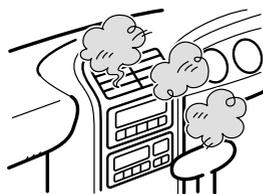
### 故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### 異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

### ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# 目次

## はじめに

### はじめに

- |   |                                |    |
|---|--------------------------------|----|
| 1 | 各部のなまえ                         | 8  |
| 2 | ご使用になる前に<br>「CD TEXT」について      | 12 |
| 3 | 本機のリセットについて                    | 14 |
| 4 | リモコンの準備                        | 14 |
| 5 | 本機のディスプレイ表示について<br>FORM1、FORM2 | 15 |

## ここだけで

### ここだけ読めばすぐ使えます

- |   |   |    |
|---|---|----|
| 1 | 聞きたいソース (音源) を選ぶ<br>電源を切る   | 16 |
| 2 | 内蔵CDのふだんの操作<br>CDを再生する<br>曲を選ぶ<br>早送り/早戻しをする<br>音量を調節する<br>CDを取り出す                            | 18 |
| 3 | WMA/MP3/WAVのふだんの操作<br>CD-ROMを再生する<br>フォルダーを選ぶ<br>曲を選ぶ<br>早送り/早戻しをする<br>音量を調節する<br>CD-ROMを取り出す | 20 |
| 4 | ラジオのふだんの操作<br>バンドを選ぶ<br>放送局を選ぶ<br>音量を調節する   | 22 |
| 5 | マルチCDのふだんの操作<br>CDを選ぶ<br>曲を選ぶ<br>早送り/早戻しをする<br>音量を調節する  | 24 |

# C O N T E N T S

ここだけ読めば  
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

## 内蔵 CD 内蔵 CD で CD を聞く

1	聞きたい曲を直接選ぶ	26
2	モードの切り換えかた	27
3	同じ曲を繰り返し聞く	28
4	いつもと違う曲順で聞く	28
5	聞きたい曲をさがす	29
6	CD 再生を一時停止する	29
7	選曲方法を切り換える	30
8	10 曲飛びに選曲する	30
9	CD の音質を調節する	31
10	曲名を見て聞きたい曲をさがす	31
11	CD のタイトルを表示させる	32

## WMA/MP3/WAV WMA/MP3/WAV を聞く

1	聞きたい曲を直接選ぶ	34
2	モードの切り換えかた	35
3	同じ曲やフォルダーを 繰り返し聞く	35
4	いつもと違う曲順で聞く	36
5	聞きたい曲やフォルダーを さがす	37
6	WMA/MP3/WAV 再生を 一時停止する	38
7	選曲方法を切り換える	38
8	10 曲飛びに選曲する	39
9	TAG 表示を ON/OFF する	39
10	CD の音質を調節する	40
11	フォルダー名、ファイル名を見て 聞きたいフォルダー、ファイル をさがす	41
12	WMA/MP3/WAV のタイトルを 表示させる	42

はじめに

内蔵 CD で CD を聞く

WMA/MP3/WAV を聞く

ラジオを聞く

マルチ CD で CD を聞く

音を調節する

その他の機能と付録

# 目次

## ラジオ

### ラジオを聞く

- 1 放送局を1局ずつ記憶させる 44
- 2 記憶させた放送局を呼び出す 45
- 3 モードの切り換えかた 46
- 4 複数の放送局を自動的に記憶させる 47
- 5 放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す 47
- 6 放送局名を選ぶ 48
- 7 放送局名を表示させる 49

## マルチCD

### マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ 50
- 2 聞きたい曲を直接選ぶ 50
- 3 モードの切り換えかた 51
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 52
- 5 聞きたい曲やCDをさがす 53
- 6 いつもと違う曲順で聞く 54
- 7 聞きたい曲だけ記憶させておく 55
- 8 記憶させた曲だけ再生する 56
- 9 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す 57
- 10 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す 57
- 11 CDのタイトルを記憶させる 58
- 12 CDのタイトルを表示させる 60
- 13 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる 60
- 14 ディスクタイトル、曲名を見て聞きたいCD、曲をさがす 62
- 15 CD再生を一時停止する 63
- 16 CDの音質を調整する 64

## 音の調節

### 音を調節する

- 1 オーディオ調節のポイント 66
- 2 オーディオ調節モードの切り換えかた 67
- 3 前後左右の音量バランスを調節する 68
- 4 音場の中心で聞く 69
- 5 タイムアライメントを選ぶ 70
- 6 タイムアライメントを調節する 71
- 7 小音量時の音にメリハリをつける 72
- 8 イコライザーカーブを選ぶ 73
- 9 イコライザーカーブを  
大まかに補正する 74
- 10 イコライザーカーブを細かく調節する 75
- 11 サブウーファーを使う 76
- 12 イメージに合った演奏会場を  
再現する 78
- 13 低い音をスピーカーから  
出力させない 80
- 14 各ソースの音量の違いをそろえる 82
- 15 騒音に合わせて音量を変える 83
- 16 オートイコライザーを  
ON/OFFする 84
- 17 オートタイムアライメント&  
イコライジングを行う前に 84
- 18 オートタイムアライメント&  
イコライジングを行う 86

# C O N T E N T S

ここだけ読めば  
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

その他

## その他の機能と付録

1	瞬時に音量を小さくする	88
2	時計を表示させる	88
3	交通情報を受信する	89
4	よく使う機能を直接操作する	89
5	初期設定モードの切り換えかた	90
6	時計を合わせる	91
7	外部機器の音声を聞く	91
8	外部機器の名称を入力する	92
9	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	93
10	ディスプレイの明るさを調節する	93
11	RCA 外部出力から出力される 信号を選ぶ	94
12	音の歪みを補正する	95
13	ミュート/アッテネート切り換え	95
14	フィーチャーデモをON/OFFする	96
15	リバースモードをON/OFFする	96
16	タイトルスクロールのしかたを 切り換える	97
17	エンタテインメントを表示させる	98
18	エンタテインメント表示を 書き換える	100
19	CDの正しい使いかた	102
20	WMA/MP3/WAV ファイル について	104
21	保証書とアフターサービス	107
22	故障かな?と思ったら	108
23	こんなメッセージが表示されたら	110
24	用語解説	112
25	おもな仕様	114

はじめに

内蔵CDでCDを聞く

WMA/MP3/WAVを聞く

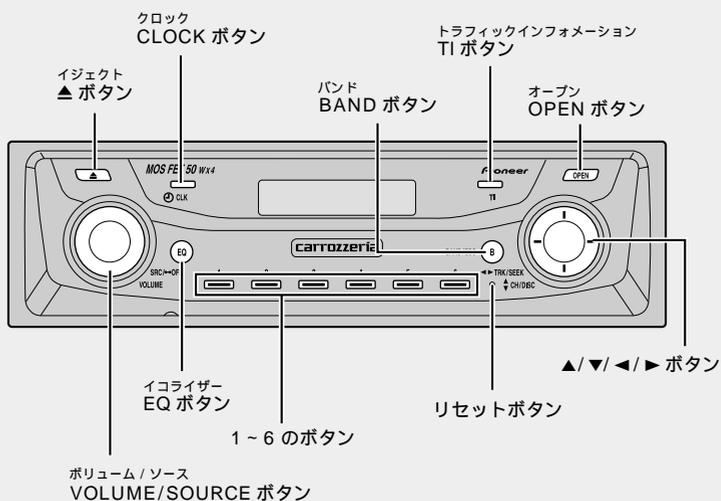
ラジオを聞く

マルチCDでCDを聞く

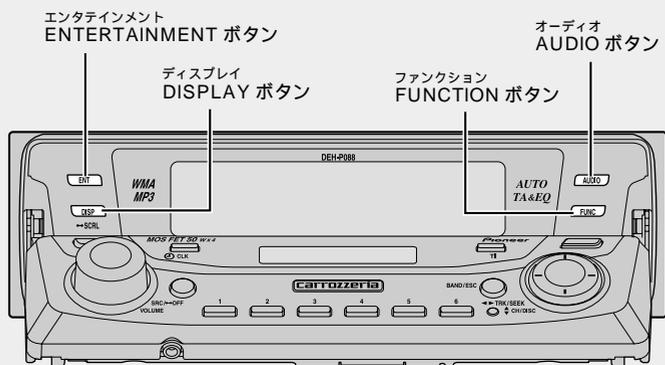
音を調節する

その他の機能と付録

本体 (CLOSE 状態)



## 本体 (OPEN 状態)



### 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。



禁止

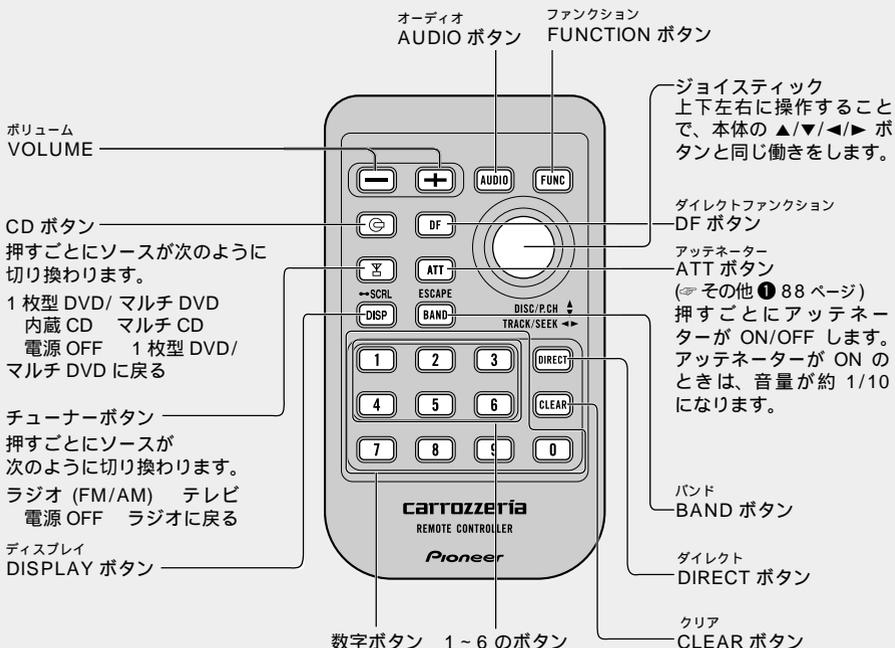
フロントパネルの開閉動作は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。

### メモ

FUNCTION ボタン、AUDIO ボタン、ENTERTAINMENT ボタン、および DISPLAY ボタンは、OPEN ボタンを押して、本機のフロントパネルを OPEN 状態にしてから操作します。

## リモコン

本体と同じなまえのボタンは、本体のボタンと同じ働きをします。また、一部のボタンは本体と操作方法が異なります。



### DF ボタンについて

DF ボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。(⇒ その他 4 89 ページ)

### 数字、DIRECT、CLEAR ボタンについて

数字、DIRECT、CLEAR ボタンを操作すると、ダイレクトサーチ機能を使うことができます。

- (⇒ 内蔵 CD 1 26 ページ)
- (⇒ WMA/MP3/WAV 1 34 ページ)
- (⇒ マルチ CD 2 50 ページ)

### FUNCTION ボタンと AUDIO ボタンについて

本機のフロントパネルが CLOSE 状態のときに、リモコンの FUNCTION ボタンまたは AUDIO ボタンを押すと、本機のフロントパネルは自動的に開きます。

### メモ

接続していないソースには切り換わりません。ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。AUX (外部機器) の設定 (⇒ その他 7 91 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。



## 本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3/WAVの再生に対応しています。

### CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

### WMA/MP3/WAV再生

WMA/MP3/WAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。（☞その他⑩ 104ページ）

## WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

### メモ

WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

## MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ<http://www.mp3licensing.com>をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットを始めとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

## 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



### タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけではなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

## 50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。また、タイトルリストモードには切り換わりません。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

## デモモードについて

本機には、リバースモードとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

### リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON(またはACC)のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、ONになります。

### メモ

エンタテインメント表示の中には、リバースモードをONにしても反転しないものもあります。

### フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能の画面を表示して紹介する機能です。

フィーチャーデモをONにしたいときは、6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが解除されます。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

### メモ

赤リード線(アクセサリ電源)は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

3

## 本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

### リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

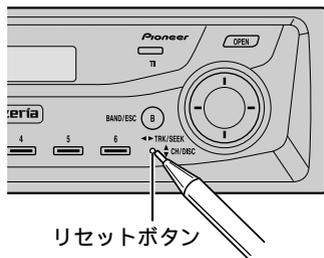
リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

### ご注意

本機をリセットする前に、フロントパネルを開けておいてください。（CDを挿入口に差したままにしないでください。）

## 1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



### メモ

フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

はじめに

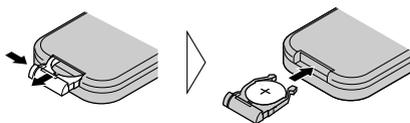
4

## リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

### リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出して、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。はじめにお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされていますので、すぐにお使いいただくことができます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

### リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないときがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

付属の電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

本機には、LCDディスプレイと、OELディスプレイの2つの画面があります。また、OELディスプレイは、2種類の基本画面があります。

### LCDディスプレイについて

LCDディスプレイは、本機の基本的な情報を表示します。また、LCDディスプレイは、フロントパネルが閉じた状態 (CLOSE 状態) でも、各ソースの再生状態、音量、時計表示などの基本的な情報を見ることができます。

LCDディスプレイは、アルファベット、および数字などで、8文字までの情報を表示することができます。

(例：内蔵CD操作時のLCD画面表示)



### ご注意

LCDの視覚特性上、取り付けられた車両によっては、フロントパネルを開いた状態では、LCD画面が見にくかったり、見えなくなったりすることがあります。

### OELディスプレイについて

OELディスプレイは、本機の詳細な情報を表示します。本機のフロントパネルが開いた状態 (OPEN 状態) で、各ソースの情報、各設定内容、エンタテインメントなどの情報を詳細に表示します。

OELディスプレイは、漢字・カタカナ・ひらがな・アルファベット・数字・記号などの表示に対応しており、OELの特性を生かした、鮮やかな画像で情報を提供します。

この説明書では、主にOEL画面を例に説明を行っています。

(例：内蔵CD操作時のOEL画面表示)



### 基本画面について

CDを聞いているときなどの基本画面には、FORM 1、FORM 2の2つの表示方法があります。

この説明書では、FORM 1を例に説明しています。

#### FORM 1



#### FORM 2



### 基本画面の切り換えかた

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 基本画面を切り換える

ENTERTAINMENT ボタンを2秒以上押す

エンタテインメント  
ENTERTAINMENT ボタン



ボタンを2秒以上押すごとに基本画面が切り換わります。

# 1 聞きたいソース (音源) を選ぶ

電源を切る

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

## 1 ソースを切り換える

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ラジオ (FM/AM)

テレビ (別売)

マルチDVD/1枚型DVD (別売)

内蔵CD

マルチCD (別売)

External1 <sup>1</sup>  
(エクスターナルユニット 1) (別売)

External2 <sup>1</sup>  
(エクスターナルユニット 2) (別売)

AUX (外部機器) (別売) <sup>2</sup>

ラジオに戻る

## 2 電源を切る

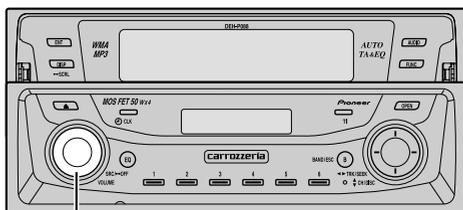
SOURCE ボタンを 1 秒以上押す  
本機の電源が切れます。

### メモ

接続していないソースには切り換わりません。ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。

<sup>1</sup>External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal (エクスターナルユニット) をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても "External" が表示されます。2台のExternal (エクスターナルユニット) を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

<sup>2</sup>AUX (外部機器) の設定 (☞ その他 91 ページ) を ON にしないと、AUX には切り換わりません。



ソース  
SOURCE ボタン

## テレビ、1枚型DVD、マルチDVDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

### 組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P777」
1枚型DVD	「SDV-P7」
マルチDVD	「XDV-P9II」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

1枚型DVDまたはマルチDVDを接続したときは、次の操作がそれぞれの取扱説明書と異なります。

#### 早送り/早戻し

▶ ボタンを0.5秒以上押すと早送り、◀ ボタンを0.5秒以上押すと早戻しします。

#### ファンクションモードの切り換え

DVD、ビデオCDを再生しているとき

タイトルリストモード (マルチDVDのみ) → 再生範囲切換モード/リピートプレイ設定モード  
→ ポーズ設定モード

CDを再生しているとき

タイトルリストモード (マルチDVDのみ) → リピートプレイ設定モード → ランダムプレイ設定モード → スキャンプレイ設定モード → ポーズ設定モード → ITSプレイ設定モード (マルチDVDのみ)

ディスクタイトル入力、ITS機能、タイトルリスト

マルチDVDでCDを再生している場合に操作できます。操作方法はマルチCDと同じです。(☞ マルチCD ⑦ ~ ⑩ 55 ~ 59、62ページ)

ここだけの操作で、内蔵CDプレーヤーでCDを聞くことができます。

## 1 CDを再生する

▲ ボタンを押してフロントパネルを開き、タイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



自動的にフロントパネルが元の状態に戻り、CDの再生が始まります。

### ご注意

CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

## 2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

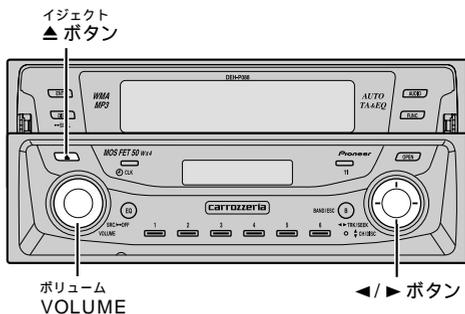
### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し <sup>1</sup>	0.5秒以上押し続けている間

<sup>1</sup> 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲します。  
(☞ 内蔵CD ⑦ 30ページ)

## メモ

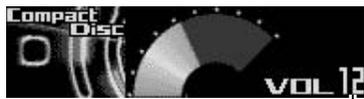
CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース (ラジオやマルチCDなど) に切り換えることもできます。(☞ ここだけで① 16ページ)  
CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。  
CDを挿入すると、本機はCDからファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイに“Format Read”が表示されます。  
本機のフロントパネルがEJECT状態 (CD挿入口が見えている状態) になっているときは、▲ボタン、VOLUME、OPENボタン、およびリモコンのATTボタン以外での操作はできません。



### 3 音量を調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき



0 ~ 40 の範囲で調整できます。  
約 4 秒間、音量が表示されます。

### 4 CDを取り出してCD再生をやめる

▲ ボタンを押す

CDが出てきます。

出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

フロントパネルを閉める

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、▲ボタン、またはOPENボタンを押して、フロントパネルをOPEN状態か、CLOSE状態にしてください。

## ⚠ 注意



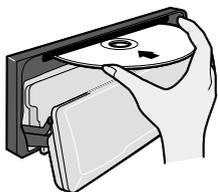
フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

注意

ここだけの操作で、内蔵CDプレーヤーでWMA/MP3/WAVを聞くことができます。  
再生できるWMA/MP3/WAVについては (☞ その他 104 ページ)

## 1 CD-ROM を再生する

▲ ボタンを押してフロントパネルを開き、タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



自動的にフロントパネルが元の状態に戻り、CD-ROM の再生が始まります。

## 2 聞きたいフォルダーを選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次のフォルダーを選ぶとき

▼ : 前のフォルダーを選ぶとき

フォルダー番号



ビットレート  
(サンプリング  
周波数)

MP3 (WMA/WAV)  
表示

BAND ボタンを 2 秒以上押すと、フォルダー-01 (ROOT) に戻ります。ただし、フォルダー-01 (ROOT) にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

## 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号

再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し <sup>1</sup>	0.5 秒以上押し 続けている間

WMA/MP3/WAV ファイルの早送り/早戻しをしているときは、音は出力されません。

<sup>1</sup> 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10 曲飛びに選曲します。

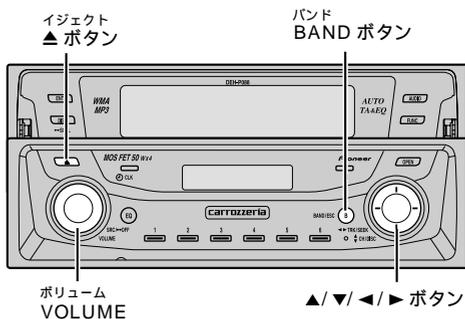
(☞ WMA/MP3/WAV 38 ページ)

### メモ

CD-ROM をセットしたまま電源を OFF にしたり、他のソース (ラジオやマルチ CD など) に切り換えることもできます。(☞ ここだけで 16 ページ) CD 挿入口には、CD 以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

CD-ROM を挿入すると、本機は CD からファイル形式などの情報を読みとります。この間、ディスプレイに "Format Read" が表示されます。VBR (可変ビットレート) で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

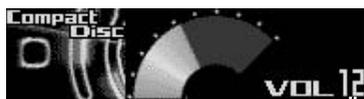
本機のフロントパネルが EJECT 状態 (CD 挿入口が見えている状態) になっているときは、▲ ボタン、VOLUME、OPEN ボタン、およびリモコンの ATT ボタン以外での操作はできません。



## 4 音量を調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき



0 ~ 40 の範囲で調整できます。  
約4秒間、音量が表示されます。

## 5 CD-ROMを取り出してCD再生をやめる

▲ ボタンを押す

CD-ROM が出てきます。

出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。

フロントパネルを閉める

CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐため、▲ボタン、またはOPENボタンを押して、フロントパネルをOPEN状態か、CLOSE状態にしてください。

## ⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

### WMA/MP3/WAVと音楽データの切り換えについて

WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合、BANDボタンを押して、WMA/MP3/WAVファイルと音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3/WAVファイルと音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

## 1 ソースを ラジオにする

SOURCE ボタンを押す

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

## 2 バンドを 選ぶ

BAND ボタンを押す

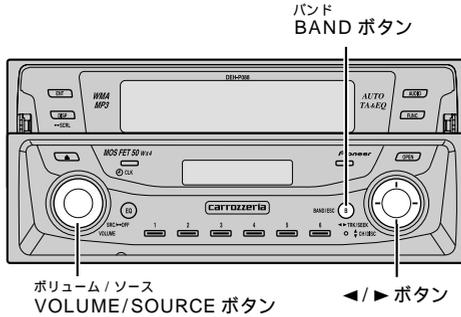
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。



FM-1 → FM-2 → AM-1 → AM-2

バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(⇒ ラジオ①④ 44、47ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのかわからない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。



### 3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

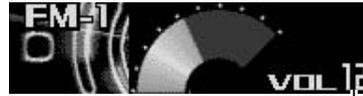
0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 音量を 調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

- 右回し : 大きくするとき
- 左回し : 小さくするとき



0 ~ 40の範囲で調整できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (⇨ ここだけで① 16ページ)

ここだけの操作で、別売のマルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

## 1 ソースを マルチCDにする

SOURCE ボタンを押す  
マルチCDの再生が始まります。

## 2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



CD 番号

### メモ

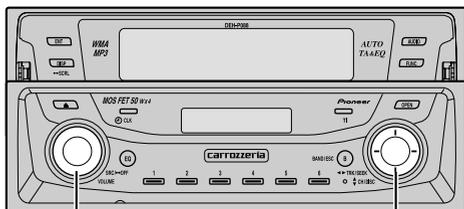
マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No MAG”が表示されます。

## 早送り/早戻しをする 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば  
すぐ使えます



ボリューム/ソース  
VOLUME/SOURCE ボタン      ▲/▼/◀/▶ ボタン

### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号      再生経過時間

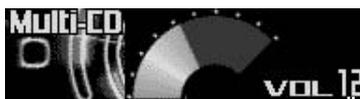
選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

### 4 音量を 調節する

VOLUME を回して、音量を調節する

右回し : 大きくするとき  
左回し : 小さくするとき

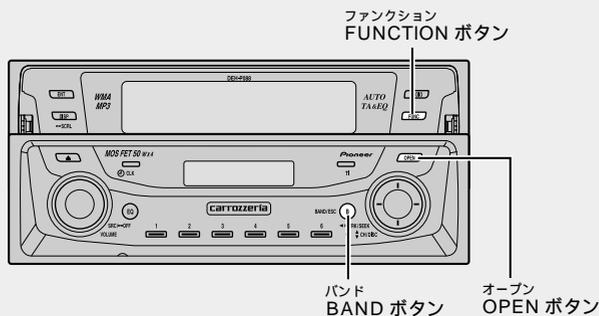


0 ~ 40の範囲で調整できます。

約4秒間、音量が表示されます。

### 5 マルチ CD 再生を やめる

他のソースに切り換えるか、電源OFF  
にする (☞ ここだけで① 16ページ)



内蔵CD  
1

## 聞きたい曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

リモコンを使って、聞きたい曲を直接選ぶことができます。

### 1 曲番号入力画面を表示する

リモコンのDIRECT ボタンを押す  
(☞ はじめに① 10 ページ)

### 3 聞きたい曲を再生する

リモコンのDIRECT ボタンを押す  
選んだ曲が再生されます。

### 2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの数字ボタンを押す



#### メモ

曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと解除されます。

リモコンのCLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

# モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## ファンクションモードの切り換え

### 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

### 2 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

トラックタイトルリストモード<sup>1</sup> (T.LIST)  
(☞ 内蔵 CD 10 31 ページ)

リピートプレイ設定モード  
(☞ 内蔵 CD 4 28 ページ)

ランダムプレイ設定モード  
(☞ 内蔵 CD 4 28 ページ)

スキャンプレイ設定モード  
(☞ 内蔵 CD 5 29 ページ)

ポーズ設定モード (☞ 内蔵 CD 6 29 ページ)

コンプレッション設定モード  
(☞ 内蔵 CD 9 31 ページ)

ラフサーチ設定モード  
(☞ 内蔵 CD 7 30 ページ)

文字情報読込設定モード<sup>2</sup>  
(☞ WMA/MP3/WAV 9 39 ページ)

トラックタイトルリストモードに戻る

## メモ

<sup>1</sup>「CD TEXT」以外を再生している場合は、トラックタイトルリストモードには切り換わりません。

<sup>2</sup>音楽データを再生している場合、文字情報読込設定を ON にしても効果はありません。

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

本機のフロントパネルが CLOSE 状態のときに、リモコンの FUNCTION ボタンを押すと、本機のフロントパネルは自動的に開きます。

## 詳細設定モードの切り換え

### 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

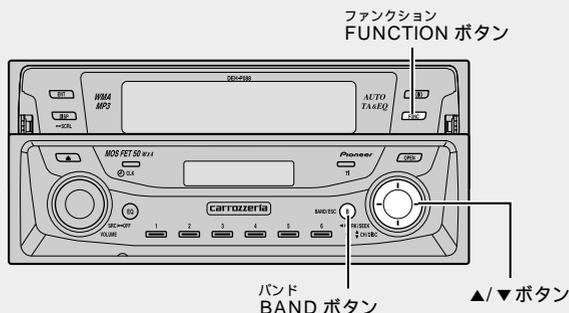
### 2 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す  
タイトル入力モードになります。  
(☞ 内蔵 CD 11 32 ページ)

## メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

「CD TEXT」を再生しているときは、詳細設定モードに切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



内蔵CD  
3

## 同じ曲を繰り返し 聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

### 1 リピートプレイ設定 モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(⇒ 内蔵CD② 27 ページ)

### 2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ランプが点灯して、今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

内蔵CD  
4

## いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

### 1 ランダムプレイ設定 モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(⇒ 内蔵CD② 27 ページ)

### 2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ランプが点灯して、次の曲からランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

## 聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

## 1 スキャンプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ 内蔵CD② 27ページ)

## 2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



ランプが点灯して、曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

## 3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにする

## 確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンプレイ設定モードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンプレイ設定モードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

## メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

## CD再生を一時停止する

ポーズ

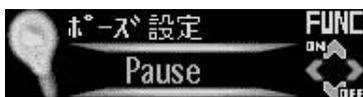
CD再生を一時停止することができます。

## 1 ポーズ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ 内蔵CD② 27ページ)

## 2 CD再生を一時停止する

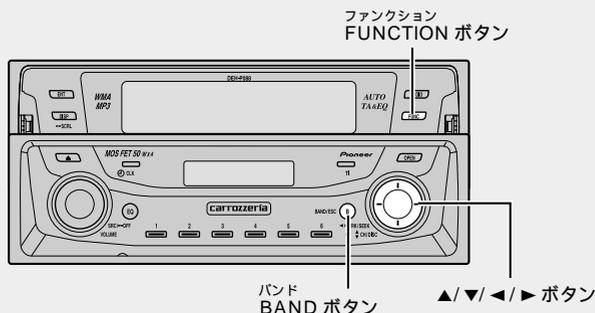
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



内蔵CD  
7

## 選曲方法を切り換える

◀または▶ ボタンを0.5秒以上押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

### 1 ラフサーチ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ 内蔵CD② 27ページ)



### 2 選曲方法を選ぶ

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : ラフサーチ (Rough search) を選ぶとき
- ◀ : 早送り/早戻し (FF / REV) を選ぶとき



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

内蔵CD  
8

## 10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。

### 1 ラフサーチ設定モードにしてラフサーチを選ぶ

(☞ 内蔵CD⑦)

### 2 聞きたい曲を選ぶ

- ◀または▶ ボタンを0.5秒以上押す
- ▶ : 10曲先の曲を選ぶとき
- ◀ : 10曲前の曲を選ぶとき

メモ

10曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様になります。

## CDの音質を調節する

COMP / BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

### COMPについて

COMPとは、COMPression (コンプレッション)の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### BMXについて

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

## 1 コンプレッション設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 内蔵CD② 27ページ)



現在のCOMP/BMXの状態が表示されます。

## 2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP/BMX OFF → COMP 1 → COMP 2  
→ COMP/BMX OFF → BMX 1 → BMX 2  
→ COMP/BMX OFFに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

## 曲名を見て聞きたい曲をさがす

トラックタイトルリスト

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧(タイトルリスト)を見ながら聞きたい曲を選ぶことができます。

## 1 トラックタイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ 内蔵CD② 27ページ)



## 2 聞きたい曲名を表示する

▲または▼ボタンを押す

▼: 次のタイトルを表示させるとき

▲: 前のタイトルを表示させるとき

## 3 聞きたい曲を選ぶ

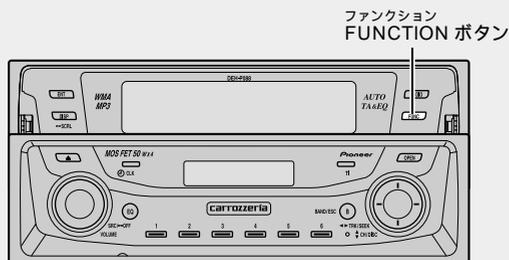
▶ ボタンを押す

選んだ曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

「CD TEXT」に曲名が収録されていないときは、「No T.Title」が表示されます。



内蔵CD  
11

## CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル入力

CDのタイトルを入力し、表示させることができます。

### タイトル表示について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

タイトルの入力のしかた (⇒ マルチCD① 58ページ)、タイトルの表示のしかた (⇒ マルチCD⑫ 60ページ) は、マルチCDと同じです。

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。

マルチCDを組み合わせて使用する場合  
タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を再生したときのタイトルの表示のしかた、隠れているタイトルの表示のしかたは、マルチCD (⇒ マルチCD⑫ 60ページ) と同じです。

**1** タイトルを入力したいCDを再生する (⇒ ここだけで⑫ 18ページ)

**2** タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

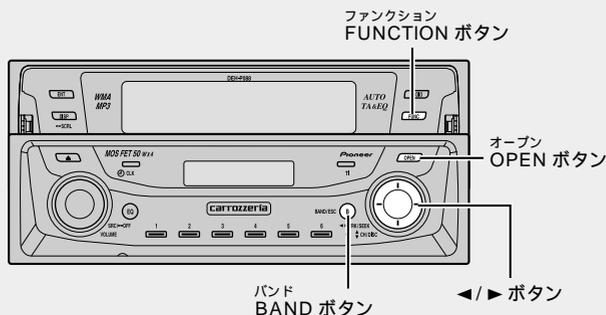
ご注意

「CD TEXT」には、タイトルを入力することはできません。そのため、「CD TEXT」を再生中に手順2の操作を行っても、タイトル入力モードには切り換わりません。

**3** CDタイトルを入力し、記憶させる (⇒ マルチCD① 58ページ)

マルチCDのタイトル入力の手順3～5を参照し、同じ操作で記憶させてください。





## WMA / MP3/WAV 聞きたい曲を直接選ぶ

1

ダイレクトサーチ

リモコンを使って、今聞いているフォルダー内で聞きたい曲を直接選ぶことができます。

### 1 曲番号入力画面を表示する

リモコンの DIRECT ボタンを押す  
(☞ はじめに 10 ページ)

### 3 聞きたい曲を再生する

リモコンの DIRECT ボタンを押す  
選んだ曲が再生されます。

### 2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの数字ボタンを押す



### メモ

曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと解除されます。

リモコンの CLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

WMA/  
MP3/WAV

2

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### ファンクションモードの切り換え

#### 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

#### 2 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

フォルダー/ファイルリストモード (F.LIST)  
(☞ WMA/MP3/WAV① 41 ページ)

再生範囲切換モード  
(☞ WMA/MP3/WAV②)

ランダムプレイ設定モード  
(☞ WMA/MP3/WAV④ 36 ページ)

スキャンプレイ設定モード  
(☞ WMA/MP3/WAV⑤ 37 ページ)

ポーズ設定モード  
(☞ WMA/MP3/WAV⑥ 38 ページ)

コンプレッション設定モード  
(☞ WMA/MP3/WAV⑩ 40 ページ)

ラフサーチ設定モード  
(☞ WMA/MP3/WAV⑦ 38 ページ)

文字情報読込設定モード  
(☞ WMA/MP3/WAV⑨ 39 ページ)

フォルダー/ファイルリストモードに戻る

#### メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。) 本機のフロントパネルがCLOSE状態のときに、リモコンのFUNCTIONボタンを押すと、本機のフロントパネルは自動的に開きます。

WMA/  
MP3/WAV

3

## 同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### 再生範囲について

再生範囲 (繰り返し聞く範囲) は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
ディスクリピート	再生中のCD-ROMを繰り返し再生します。(通常はこのモードにしておきます。)
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
フォルダーリピート	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。

#### 1 再生範囲切換モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV②)

#### 2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



Disc repeat (ディスクリピート)  
→ Track repeat (トラックリピート)  
→ Folder repeat (フォルダーリピート)  
→ Disc repeat に戻る

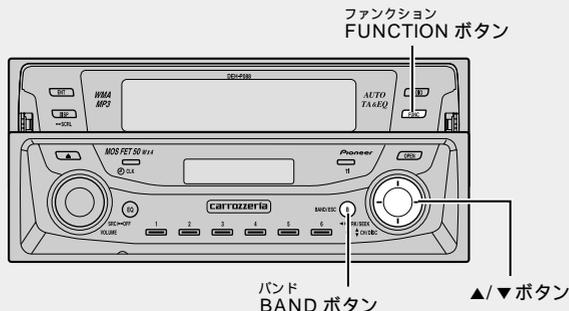
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは「TRACK」、フォルダーリピートのときは「FOLDER」が表示されます。

#### メモ

フォルダーリピートは、再生中のフォルダー内の曲 (WMA/MP3/WAV ファイル) だけを再生します。サブフォルダー内の曲は再生されません。



WMA / MP3 / WAV  
4

## いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲を内蔵CDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

### 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV ③ 35 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 ランダムプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV ② 35 ページ)

### 3 ランダム再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



ランプが点灯して、次の曲からランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

表示	再生範囲
FOLD RDM	フォルダーリピート
RANDOM	ディスクリピート

#### メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生を ON にすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

## 聞きたい曲やフォルダーをさがす

## スキャン再生

今聞いているフォルダーの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

## 1 再生範囲切替モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV ④ 35ページ)

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)

再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいフォルダーをさがすとき  
(フォルダースキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

表示	再生範囲
FOLD SCAN	ディスクリピート
TRK SCAN	フォルダーリピート

## 4 聞きたい曲(フォルダー)が再生されたらスキャン再生をOFFにする

## 確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンプレイ設定モードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンプレイ設定モードのときに▼ボタンを押す



BANDボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

## メモ

スキャン再生を始めた曲(またはフォルダー)まで戻ると、スキャン再生は解除されます。トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

## 2 スキャンプレイ設定モードにする

FUNCTIONボタンを押して選ぶ

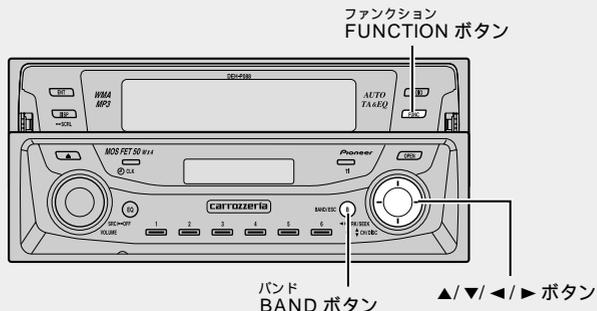
(☞ WMA/MP3/WAV ② 35ページ)

## 3 スキャン再生を始める

▲ボタンを押す



ランプが点灯して、曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



## 6 WMA/MP3/WAV 再生を一時停止する

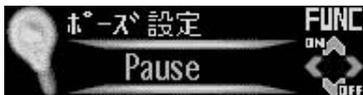
WMA/MP3/WAV 再生を一時停止することができます。

### 1 ポーズ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV ② 35 ページ)

### 2 WMA/MP3/WAV 再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

## 7 WMA/MP3/WAV 選曲方法を切り換える

◀または▶ ボタンを0.5秒以上押し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

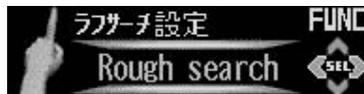
### 1 ラフサーチ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV ② 35 ページ)



### 2 選曲方法を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す  
▶ : ラフサーチ (Rough search) を選ぶとき  
◀ : 早送り/早戻し (FF / REV) を選ぶとき



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

WMA/  
MP3/WAV

8

## 10 曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。

### 1 ラフサーチ設定モードにしてラフサーチを選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV ⑦)

### 2 聞きたい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを 0.5 秒以上押す

▶ : 10 曲先の曲を選ぶとき

◀ : 10 曲前の曲を選ぶとき

#### メモ

10曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様になります。

WMA/  
MP3/WAV

9

## TAG 表示を ON/OFF する

トラックタイトルやアーティスト名などの文字情報を収録した MP3/WMA ディスクを再生している場合、ID3 tag や WMA tag の表示を ON/OFF することができます。

### 1 文字情報読込設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV ② 35 ページ)

### 2 文字情報読込を ON にする

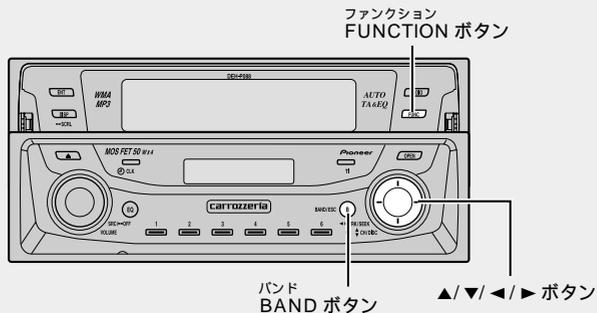
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

文字情報読込を ON にすると、文字情報を読み込むために、聞いている曲の始めに戻ります。ID3 tag の Ver1.0 および Ver1.1 の場合、ID3 tag の表示を OFF にすると、ON にしている場合に比べ、曲を切り換えたときに再生が始まるまでの時間が短くなります。



## WMA / MP3 / WAV 10 CD の音質を調節する

COMP / BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

### COMP について

COMPとは、COMPRESSion (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### BMX について

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

## 1 コンプレッション設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV ② 35 ページ)



現在のCOMP/BMXの状態が表示されます。

## 2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。  
COMP/BMX OFF → COMP 1 → COMP 2  
→ COMP/BMX OFF → BMX 1 → BMX 2  
→ COMP/BMX OFF に戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

# フォルダー名、ファイル名を見て 聞きたいフォルダー、ファイルをさがす

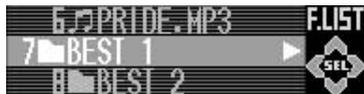
フォルダーリスト / ファイルリスト

フォルダー名やファイル名の一覧 (フォルダー/ファイルリスト) を見ながら聞きたいフォルダーやファイルを選ぶことができます。

## 1 フォルダー/ファイルリスト モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ WMA/MP3/WAV 35 ページ)



## 2 フォルダー名 (またはファイル 名) を表示する

▲ または ▼ ボタンを押す

▼ : 次のフォルダー名 (またはファイル名) を表示させるとき

▲ : 前のフォルダー名 (またはファイル名) を表示させるとき

## 3 フォルダー (またはファイル) を選ぶ

フォルダーを選んだとき

▶ ボタンを押す

選んだフォルダーの下の階層にあるフォルダー名 (またはファイル名) を表示します。

手順2から繰り返してください。

▶ ボタンを 0.5 秒以上押す

選んだフォルダーを再生します。

ファイルを選んだとき

▶ ボタンを押す

選んだファイルを再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

◀ ボタンを押すと、上の階層に戻ります。

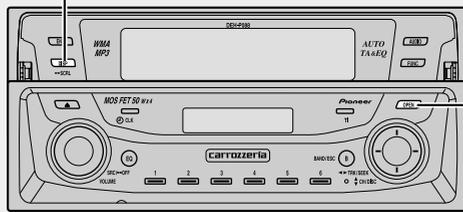
◀ ボタンを 0.5 秒以上押すと、フォルダー 01 (ROOT) に戻ります。

フォルダーリストは、必ずフォルダー 01 (ROOT) から表示されます。

選択しているフォルダーの下の階層に、フォルダーまたはファイルがある場合は、フォルダー名の右側に “▶” が表示されます。

フォルダー内に、再生できるファイルがない場合、“NO FILES” が表示されます。

ディスプレイ  
DISPLAY ボタン



オープン  
OPEN ボタン

WMA / MP3 / WAV  
12

## WMA / MP3 / WAV のタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

WMA / MP3 / WAV ファイルに記録された、フォルダー名・ファイル名などの文字情報や、ビットレートなどを表示させることができます。全角で11文字、半角で22文字まで一度に表示できます。

### 表示切り換え

#### 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

#### 2 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

WMA / MP3 の場合 (FORM 1)

再生経過時間 & ビットレート表示

フォルダー名 (  )

ファイル名 (  )

トラックタイトル (  ) <sup>1</sup>

アーティスト名 (  ) <sup>1</sup>

アルバムタイトル (  ) <sup>1</sup>

再生経過時間 & ビットレート表示に戻る

WMA / MP3 の場合 (FORM 2)

再生経過時間 / ビットレート表示  
& フォルダー名 (  )

再生経過時間 / ビットレート表示  
& ファイル名 (  )

再生経過時間 / ビットレート表示  
& トラックタイトル (  ) <sup>1</sup>

再生経過時間 / ビットレート表示  
& アーティスト名 (  ) <sup>1</sup>

再生経過時間 / ビットレート表示  
& アルバムタイトル (  ) <sup>1</sup>

フォルダー名 (  ) & ファイル名 (  )

アルバムタイトル (  ) & トラック  
タイトル (  ) <sup>1</sup>

アーティスト名 (  ) & トラック  
タイトル (  ) <sup>1</sup>

再生経過時間 / ビットレート表示  
& フォルダー名 (  ) に戻る

WAV の場合 (FORM 1)

再生経過時間 & サンプリング周波数表示

フォルダー名 (  )

ファイル名 (  )

再生経過時間 & サンプリング周波数表示に戻る

WAV の場合 (FORM 2)

再生経過時間 / サンプリング周波数表示  
& フォルダー名 (  )

再生経過時間 / サンプリング周波数表示  
& ファイル名 (  )

フォルダー名 (  ) & ファイル名 (  )

再生経過時間 / サンプリング周波数表示  
& フォルダー名 (  ) に戻る

メモ

<sup>1</sup>文字情報読込設定がOFFの場合、トラックタイトル、トラックアーティストネーム、およびアルバムタイトルには切り換わりません。

トラックタイトルなどが収録されていないCDで表示を切り換えると、“No Title”などが表示されます。WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

VBR (可変ビットレート) で記録されたMP3ファイルを再生中に、表示を再生経過時間/ビットレート表示に切り換えた場合、“VBR”と表示されます。

VBR (可変ビットレート) で記録されたWMAファイルを再生中に、表示を再生経過時間/ビットレート表示に切り換えた場合、平均ビットレートが表示されます。

隠れている文字を表示する

1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

2 隠れているタイトルを表示する

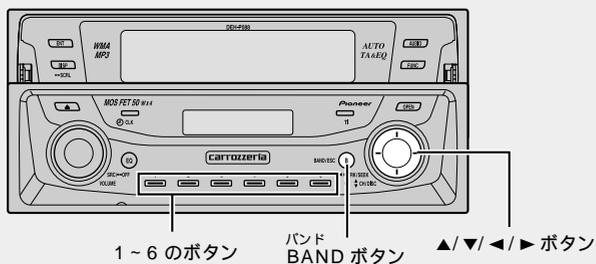
DISPLAY ボタンを 2 秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。

メモ

初期設定で連続スクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示されます。タイトルの最初の22文字 (全角の場合は11文字) を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。連続スクロールについては (⇒ その他 ⑨ 97 ページ) FORM 2 を選んでいる場合、一度に表示できるのは全角で7文字、半角で14文字までになります。

ラジオ  
1

## 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1 ~ 6 のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 22ページ)

### 2 記憶させたい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 23ページ)

### 3 記憶させる

1 ~ 6 のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。

記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

#### メモ

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)

# 記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

## 1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 22ページ)

## 2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの 1 つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

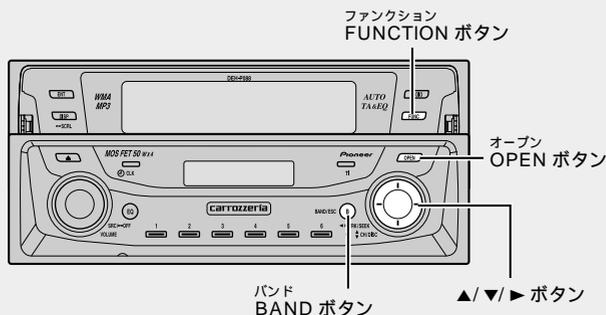
▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

ラジオ  
3

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## ファンクションモードの切り換え

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。  
BSM設定モード (BSM)  
(☞ ラジオ④)

プリセットチャンネルリストモード (CH.LIST)  
(☞ ラジオ⑤)

BSM設定モードに戻る

## メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 詳細設定モードの切り換え

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す  
放送局名選択モードになります。  
(☞ ラジオ⑥ 48ページ)

## メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

## 複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す

(☞ ここだけで④ 22 ページ)

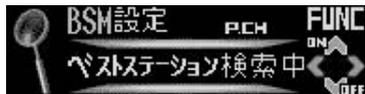
### 2 BSM 設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ ラジオ③)

### 3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶が終わるとプリセットチャンネルリストモードに切り換わり、1のボタンに記憶した放送局を受信します。(☞ ラジオ⑤)

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ② 45 ページ)

## 放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

プリセットチャンネルリスト

1～6のボタンに記憶させた放送局を、放送局名の一覧(チャンネルリスト)の中から選ぶことができます。

### 1 プリセットチャンネルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ ラジオ③)



### 2 聞きたい放送局名を表示する

▲ または▼ ボタンを押す

▼ : 次の放送局を表示させるとき

▲ : 前の放送局を表示させるとき

### 3 聞きたい放送局を選ぶ

▶ ボタンを押す

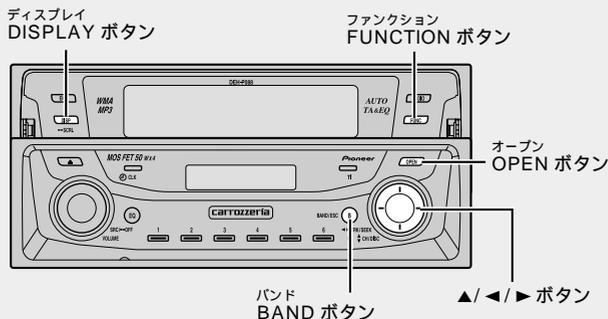
選んだ放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

表示されている放送局名が、受信している放送局と異なる場合、放送局名を変更することができます。(☞ ラジオ⑥ 48 ページ)

放送局名が登録されていない放送局の場合、周波数が表示されます。

ラジオ  
6

## 放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

## 放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例: FM 80.0MHz を使用している放送局は「TOKYO FM」「FM 青森」「FM 岐阜」「FM 福岡」「FM 愛媛」など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

## 1 バンドを選ぶ

BAND ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 22 ページ)

## 2 放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 23 ページ)

## 3 放送局選択モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

## 4 放送局名を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき

## ご注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

放送局名を  
表示させる

表示切り換え

受信周波数以外に、放送局名選択で選んだ放送局名を表示させることができます。

## 5 放送局名を変更する

▲ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

## メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、「放送局データなし」と表示されます。

放送局名を表示させたくないときは、全て空白の表示を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を「FM M-CD」に変更して表示することができます。

パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を「TVsound」に変更して表示することができます。

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

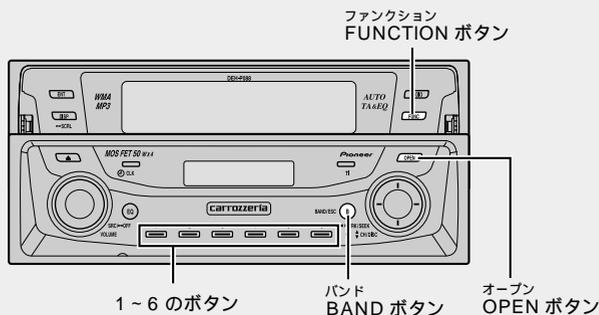
## 2 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

受信周波数表示

放送局名表示

受信周波数表示に戻る



マルチCD  
**1**

## 聞きたいCDを 直接選ぶ

ダイレクトサーチ (ディスク)

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

### 1 聞きたいCDを選ぶ

1 ~ 6 のボタンを押す

2秒未満：1 ~ 6 枚目のCDを選ぶとき  
2秒以上：7 ~ 12 枚目のCDを選ぶとき



CD 番号

マルチCD  
**2**

## 聞きたい曲を 直接選ぶ

ダイレクトサーチ (トラック)

リモコンを使って、今聞いているCDの中の聞きたい曲を直接選ぶことができます。

### 1 曲番号入力画面を表示する

リモコンのDIRECT ボタンを押す  
(☞ はじめに① 10 ページ)

### 2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの数字ボタンを押す



### 3 聞きたい曲を再生する

リモコンのDIRECT ボタンを押す  
選んだ曲が再生されます。

#### メモ

曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと解除されます。

リモコンのCLEAR ボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## ファンクションモードの切り換え

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトルリストモード  
(☞ マルチ CD ⑭ 62 ページ)

再生範囲切換モード  
(☞ マルチ CD ④ 52 ページ)

ランダムプレイ設定モード  
(☞ マルチ CD ⑥ 54 ページ)

スキャンプレイ設定モード  
(☞ マルチ CD ⑤ 53 ページ)

ポーズ設定モード  
(☞ マルチ CD ⑮ 63 ページ)

コンプレッション設定モード  
(☞ マルチ CD ⑯ 64 ページ)

ITS プレイ設定モード  
(☞ マルチ CD ⑧ 56 ページ)

タイトルリストモードに戻る

## メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

## 詳細設定モードの切り換え

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

## 3 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

タイトル入力モード <sup>1</sup>  
(☞ マルチ CD ⑪ 58 ページ)

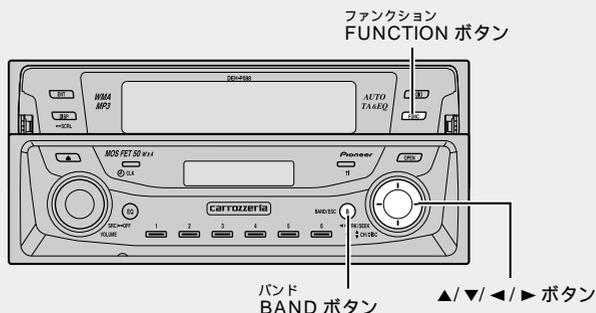
ITS 登録モード  
(☞ マルチ CD ⑦ 55 ページ)

タイトル入力モードに戻る

## メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

<sup>1</sup>「CD TEXT」に対応しているマルチ CD プレーヤー (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)



マルチCD  
4

## 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

### 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

### 1 再生範囲切換モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(⇒ マルチCD ⑤ 51 ページ)

### 2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



- Track repeat (トラックリピート)
- Disc repeat (ディスクリピート)
- Magazine repeat (マルチCDリピート)
- Track repeatに戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときは“TRACK”、ディスクリピートのときは“DISC”が表示されます。

## 聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

## 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(⇒ マルチCD④)

聞きたい曲をさがすとき  
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき  
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内の全CDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

表示	再生範囲
TRK SCAN	ディスクリピート
DISC SCAN	マルチCDリピート

## 4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンプレイ設定モードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンプレイ設定モードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。  
トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、スキャン再生します。

## 2 スキャンプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

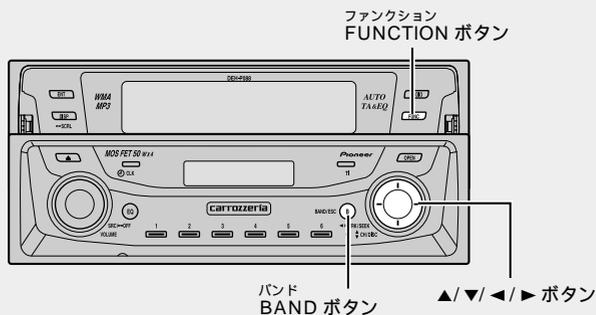
(⇒ マルチCD③ 51ページ)

## 3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



ランプが点灯して、曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。



マルチCD  
6

## いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

### 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD ④ 52ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

### 2 ランダムプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ③ 51ページ)

### 3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ランプが点灯して、次の曲からランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

表示	再生範囲
DISC RDM	ディスクリピート
RANDOM	マルチCDリピート

### メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わり、ランダム再生します。

記憶させた曲だけ再生する (⇒ マルチCD⑧ 56ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

## ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

CD1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは記憶できる曲が24曲までになります。)

ITSは、タイトル (⇒ マルチCD⑩ 58ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

## 1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(⇒ ここだけで⑤ 24ページ)

## 2 ITS登録モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (⇒ マルチCD⑨ 51ページ)

## 3 記憶させたい曲を選ぶ

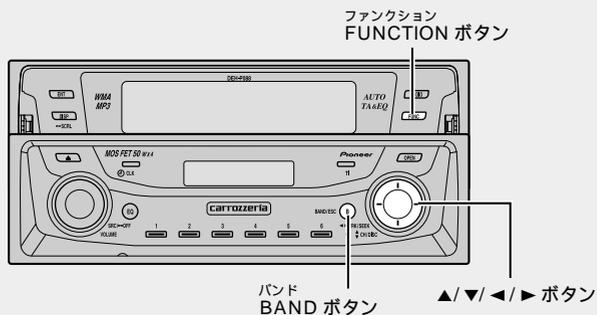
◀または▶ボタンを押す  
(⇒ ここだけで⑥ 25ページ)

## 4 記憶させる

▲ボタンを押す



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD  
8

## 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD 7 55ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

### 1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD 4 52ページ)

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

### 2 ITS プレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD 3 51ページ)

### 3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

### メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS empty” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

## 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS 消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

### 1 ITS再生をONにする (☞ マルチCD⑧)

### 2 消去したい曲を再生する

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ ここだけで⑤ 25 ページ)

### 3 ITS登録モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD③ 51 ページ)

### 4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

#### メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS empty” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

## 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS 消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

### 1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す  
(☞ ここだけで⑤ 24 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(☞ マルチCD③)

### 2 ITS登録モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD③ 51 ページ)

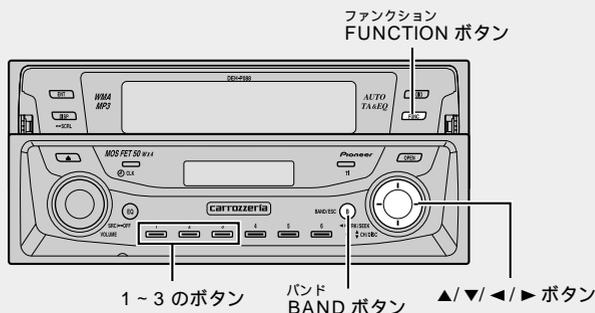
### 3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去されたことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD  
11

## CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (☞ マルチCD ⑫ 60ページ) ために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

### タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。

CDにタイトルをつけるとタイトルリスト (☞ マルチCD ⑬ 62ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルで同様にタイトルリスト (☞ マルチCD ⑬ 62ページ) をすることができます。

タイトルは10文字まで入力できます。

記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (☞ マルチCD ⑦ 55ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

### 1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す  
(☞ ここだけで⑭ 24ページ)

### 2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ マルチCD ③ 51ページ)

#### ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

### 3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶ

◀または▶ ボタンを押して入力したい位置にカーソルを移動させる

- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。10文字まで入力できます。

入力する文字を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : 次の文字を選ぶとき
- ▼ : 前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 ( a ~ z )、空白 ( _ )
2ボタン	アルファベットの大文字 ( A ~ Z )、数字 ( 0 ~ 9 )、 記号 ( ! " # など )、 空白 ( _ )
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	数字 ( 0 ~ 9 )、 記号 ( ! " # など )、 空白 ( _ )
	カタカナ ( ア ~ ン )、 音引き ( - )、 空白 ( _ )
	拗促音、濁点、半濁点 ( アイウエオヤユヨツ 。 )、 空白 ( _ )

### 4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

### 5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す



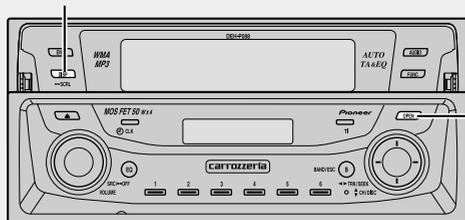
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

#### メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

ディスプレイ  
DISPLAY ボタン



オープン  
OPEN ボタン

マルチCD  
**12**

## CDのタイトルを 表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (➡ マルチCD ① 58 ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

### 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

### 2 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FORM 1

再生経過時間表示

ディスクタイトル (🕒)

再生経過時間表示に戻る

#### メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「No title」が表示されます。FORM 2は、常に再生経過時間とディスクタイトルが表示されます。

マルチCD  
**13**

## 「CD TEXT」のタイトル や歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) に「CD TEXT」をセットしたとき、ディスクタイトルやディスクアーティスト名などを表示させることができます。一度に全角で11文字、半角で22文字表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

### 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



### タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

表示切り換え

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FORM 1

再生経過時間表示

ディスクタイトル (  )

ディスクアーティスト名 (  )

トラックタイトル (  )

トラックアーティスト名 (  )

再生経過時間表示に戻る

FORM 2

再生経過時間表示 & ディスクタイトル (  )

再生経過時間表示 &  
ディスクアーティスト名 (  )

再生経過時間表示 & トラックタイトル (  )

再生経過時間表示 &  
トラックアーティスト名 (  )

ディスクタイトル (  ) & トラック  
タイトル (  )

ディスクアーティスト名 (  ) & トラック  
タイトル (  )

再生経過時間表示に戻る

### メモ

トラックアーティストネーム (歌手名) などが収録されていないCDで表示を切り換えると、“No artist name” などが表示されます。  
表示をディスクタイトル、トラックタイトルなどに切り換えたとときに、自動的に1回スクロール表示します。

### 隠れている文字を表示する

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

## 2 隠れているタイトルを表示する

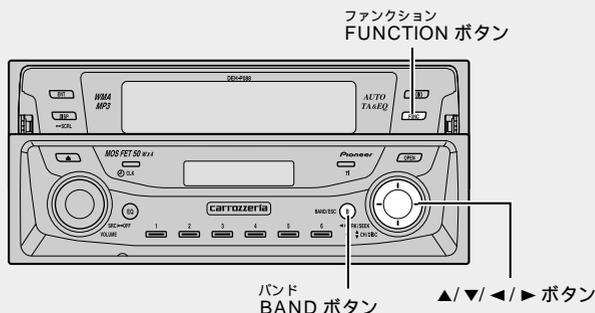
DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順に表示されていきます。

### メモ

初期設定で連続スクロール機能をONにした場合、タイトルが繰り返しスクロール表示されます。タイトルの最初の22文字(全角の場合は11文字)を表示させて、再びスクロールさせたいときは、DISPLAY ボタンを2秒以上押してください。連続スクロールについては (  その他 97 ページ )  
FORM 2 を選んでいる場合、一度に表示できるのは全角で7文字、半角で14文字までになります。



マルチCD  
14

## ディスクタイトル、曲名を見て 聞きたいCD、曲をさがす

ディスクタイトルリスト / トラックタイトルリスト

ディスクタイトルや「CD TEXT」の曲名の一覧(タイトルリスト)を見ながら聞きたいCDや曲を選ぶことができます。

### 1 タイトルリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ  
(☞ マルチCD 51 ページ)



### 2 聞きたいCDのタイトルを表示する

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▼ : 次のタイトルを表示させるとき
- ▲ : 前のタイトルを表示させるとき

### 3 CD を選ぶ

- ▶ ボタンを押す
- 選んだCDが再生されます。

手順3で「CD TEXT」を再生したとき

### 4 トラックタイトルリストを表示する

- ▶ ボタンを押す
- 再生している「CD TEXT」の曲名の一覧が表示されます。

### 5 聞きたい曲名を表示する

- ▲ または ▼ ボタンを押す
- ▼ : 次のタイトルを表示させるとき
- ▲ : 前のタイトルを表示させるとき

### 6 聞きたい曲を選ぶ

- ▶ ボタンを押す
- 選んだ曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

#### メモ

「CD TEXT」に曲名が収録されていないときは、「No T.Title」が表示されます。  
◀ ボタンを押すと、ディスクタイトルに戻ります。

# CD再生を一時停止 する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

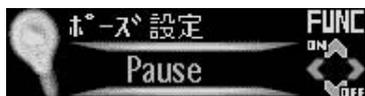
## 1 ポーズ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ⑤ 51 ページ)

## 2 CD再生を一時停止する

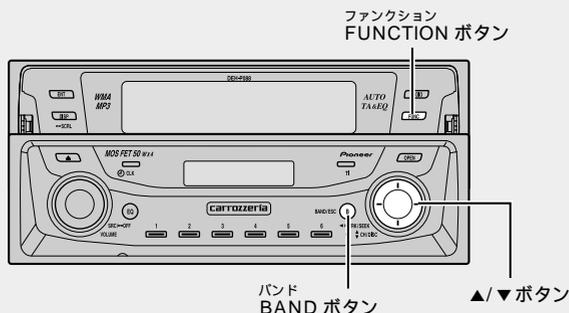
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。



## マルチCD 16 CDの音質を調整する

COMP/DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック COMP/DBE 機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

### COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

## 1 コンプレッション設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD 51 ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

### ご注意

COMP/DBE 機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“No COMP”が表示されて、操作ができません。

## 2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

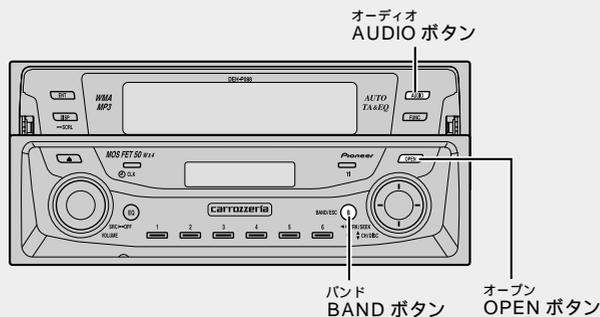
COMP OFF → COMP 1 → COMP 2 →  
COMP OFF → DBE 1 → DBE 2 →  
COMP OFF に戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

### メモ

COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。





## 音の調節

## 1

## オーディオ調節のポイント

心地よい音の空間を手軽に演出したり、お好みに合わせてきめ細かく調節することができます。

## 手軽に心地よい音場を演出する

次の機能は、車種によって異なる音響特性に合わせた音場の演出を手軽に調節することができます。

- イコライザーカーブを選ぶ
- 音場の中心で聞く (POSITION)
- イコライザーカーブをだまかに補正する (EQ1)

## きめ細かくお好みに合わせて調節する

次の順に設定や調節をすることで、きめ細かくお好みの音場を創り出すことができます。

- 音場の中心で聞く (POSITION)
- 前後左右の音量バランスを調節する (FAD/BAL)
- サブウーファーを使う (SW.1、SW.2、SW.3)
- 低い音をスピーカーから出力させないようにする (HP F1、HP F2、HP R1、HP R2)
- オートタイムアライメント&イコライジングを行う
- イコライザーカーブを選ぶ
- イコライザーカーブをだまかに補正する (EQ1)
- イコライザーカーブを細かく調節する (EQ2)

## 便利な機能

次の機能は、お好みに合わせてお使いください。

- 小音量時の音にメリハリをつける (LOUD)
- イメージに合った演奏会場を再現する (SFC)
- 騒音に合わせて音量を変える (ASL)
- 各ソースの音量の違いをそろえる (SLA)

## オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

## オーディオ調節モード 1

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

2 オーディオ調節モード 1  
を切り換える

AUDIO ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (FAD/BAL)  
(☞ 音の調節 ③ 68 ページ)

リスニングポジションセレクターモード  
(POSITION) (☞ 音の調節 ④ 69 ページ)

タイムアライメントモード 1 (TA1)  
(☞ 音の調節 ⑤ 70 ページ)

タイムアライメントモード 2 (TA2)  
(☞ 音の調節 ⑥ 71 ページ)

ラウドネスモード (LOUD)  
(☞ 音の調節 ⑦ 72 ページ)

イコライザー調節モード (EQ1)  
(☞ 音の調節 ⑧⑨ 73、74 ページ)

イコライザー 13 バンド調節モード (EQ2)  
(☞ 音の調節 ⑩ 75 ページ)

サブウーファーモード 1 (SW.1) <sup>1</sup>  
(☞ 音の調節 ⑪ 76 ページ)

サブウーファーモード 2 (SW.2) <sup>1</sup>  
(☞ 音の調節 ⑪ 76 ページ)

サブウーファーモード 3 (SW.3) <sup>1</sup>  
(☞ 音の調節 ⑪ 76 ページ)

SFC モード (SFC) (☞ 音の調節 ⑫ 78 ページ)

音量バランス調節モードに戻る

## オーディオ調節モード 2

## 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

2 オーディオ調節モード 2  
にする

AUDIO ボタンを 2 秒以上押す

3 オーディオ調節モード 2  
を切り換える

AUDIO ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。  
ハイパスフィルターモード 1 (フロント)  
(HP F1) (☞ 音の調節 ⑬ 80 ページ)

ハイパスフィルターモード 2 (フロント)  
(HP F2) (☞ 音の調節 ⑬ 80 ページ)

ハイパスフィルターモード 1 (リア)  
(HP R1) (☞ 音の調節 ⑬ 80 ページ)

ハイパスフィルターモード 2 (リア)  
(HP R2) (☞ 音の調節 ⑬ 80 ページ)

オートイコライザーモード (AUTO EQ)  
(☞ 音の調節 ⑬ 84 ページ)

ASL モード (ASL) (☞ 音の調節 ⑬ 83 ページ)

SLA モード (SLA) <sup>2</sup> (☞ 音の調節 ⑬ 82 ページ)

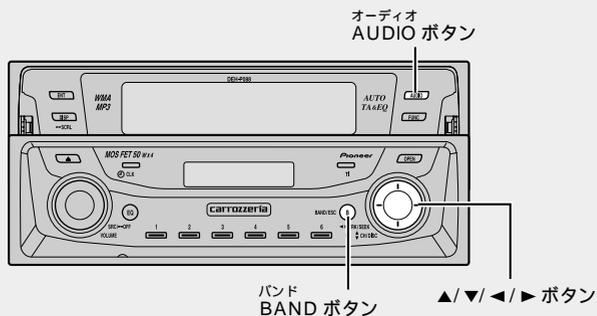
ハイパスフィルターモード 1 (フロント) に戻る

## メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

<sup>1</sup>サブウーファーモード 1 を OFF にした場合は、サブウーファーモード 2 と 3 には切り換わりません。

<sup>2</sup>ラジオの FM を聞いているときは、SLA モードには切り換わりません。

音の調節  
3

## 前後左右の音量バランスを調節する

## フェーダー/バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節  
モードにする

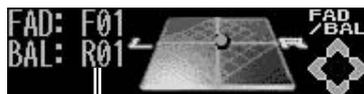
AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

左右を調節する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節  
できます。

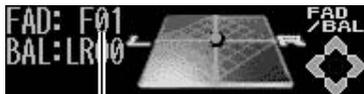
## 2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節  
できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節  
モード1を解除してください。

## 音場の中心で聞く

## リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

## 1 リスニングポジションセクターモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

## 2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに ON/OFF します。

▶ : Front Right

◀ : Front Left

▲ : Front Seat

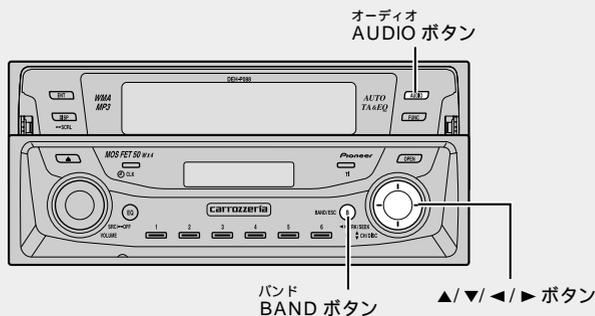
▼ : All Seat

表示	乗車位置
Front Right	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front Left	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front Seat	同乗者が助手席にいるとき
All Seat	同乗者が後部座席にいるとき



選んだ乗車位置が表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。

音の調節  
5

## タイムアライメントを選ぶ

タイムアライメント

3種類のタイムアライメントの中から、好みのタイムアライメントを選ぶことができます。

## タイムアライメントについて

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

## 1 タイムアライメントモード 1にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

## 2 タイムアライメントを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

Initial ↔ Custom ↔ Auto TA ↔ TA OFF  
↔ Initialに戻る

表示	タイムアライメント
Initial	初期設定状態 (ご購入直後の状態)
Custom	お好みに合わせて調節したもの
Auto TA	Auto TA&EQで作成したもの (☞ 音の調節 ⑬ 86 ページ)

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード 1 を解除してください。

## メモ

Auto TA&EQを行っていないときは、“Auto TA”を選ぶことはできません。(“Auto TAを設定してください”と表示されます。)

# タイムアライメントを調節する

## タイムアライメント調節

タイムアライメントを厳密に調節することができます。調節した内容は、自動的に“Custom”に記憶されます。

### 1 タイムアライメントモード1にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

### 2 調節の元になるタイムアライメントを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ 音の調節 ③)

### 3 距離の単位を選ぶ

▲または▼ ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

cm (センチメートル) ↔ inch (インチ)

### 4 タイムアライメントモード2にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

#### 確認

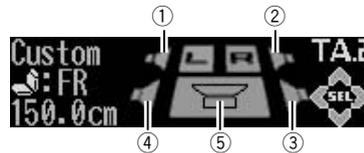
リスニングポジションセレクターモードで“Front Right”が“Front Left”を選んでいないと、タイムアライメントの調節をすることはできません。(“ポジションFL/FR選択ください”と表示されます。)

### 5 各スピーカーの距離を調節する

調節するスピーカーを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



①左フロントスピーカー ↔ ②右フロントスピーカー  
 ③右リアスピーカー ↔ ④左リアスピーカー  
 ⑤サブウーファー ↔ ①左フロントスピーカーに戻る

距離を調節する

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 距離を遠くするとき

▼ : 距離を近くするとき



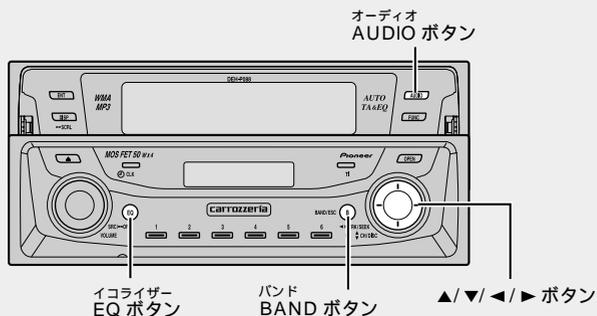
0.0 cm ~ 400.0 cm の範囲で調節できます。  
(inch を選んだ場合は、0 inch ~ 160 inch の範囲で調節できます。)

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。

#### メモ

タイムアライメントモード1でOFFを選んでいるときは、タイムアライメントモード2には切り換わりません。

サブウーファーモード1をOFFにしているときは、サブウーファーには、切り換わりません。

音の調節  
7

## 小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

## 1 ラウドネスモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

## 2 ラウドネスを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード 1 を解除してください。

# イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中からお好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

## Custom について

“Custom1”と“Custom2”は、お好みに合わせて調節することができます。(☞ 音の調節⑩ 75ページ)

## Flat について

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

## EQ ボタンで選ぶとき

### 1 イコライザーカーブを切り換える

EQ ボタンを押す



ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SUPER BASS → POWERFUL →  
NATURAL → VOCAL → FLAT →  
CUSTOM1 → CUSTOM2 → SUPER  
BASS に戻る

## オーディオ調節モードで選ぶとき

### 1 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節② 67ページ)

### 2 イコライザーカーブを切り換える

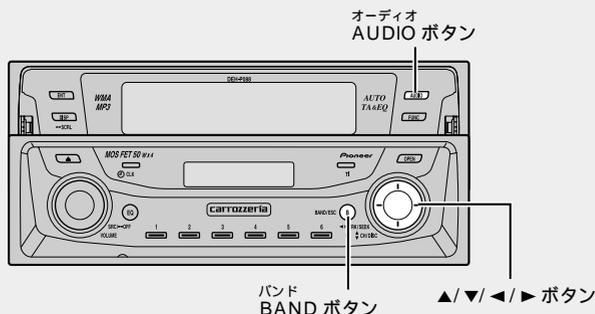
◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



S.Bass ↔ Powerful ↔ Natural ↔ Vocal  
↔ Flat ↔ Custom1 ↔ Custom2 ↔  
S.Bass に戻る

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。



## 音の調節

## 9

## イコライザーカーブを大まかに補正する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

## 1 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

## 2 補正したいイコライザーカーブに切り換える

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ 音の調節 ④ 73 ページ)

## ご注意

FLATおよび、すべての周波数が“0”に設定されているCUSTOM1、2を補正することはできません。

## 3 イコライザーカーブを補正する

- ▲または▼ ボタンを押す
- ▲ : 強めるとき
- ▼ : 弱めるとき



- 5 ~ + 6の範囲で調節できます。

(S-BassとCustom1、2は - 6 ~ + 6の範囲で調節できます。ただし、Customに記憶されているカーブによっては、調節できる範囲が狭くなることがあります。)

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。

## イコライザーカーブを細かく調節する

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

## Custom1 について

“Custom1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、およびExternal 1とExternal 2は同じ設定になります。)また、一度も調節をしていないソースでは、最後に他のソースで調節した内容が呼び出されます。

“Custom2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、調整したカーブが“Custom1”に記憶されます。

## Custom2 について

“Custom2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブです。お好みに合わせて調節することができます。

“Custom2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“Custom2”として記憶されます。

## 1 イコライザー調節モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

## 2 調節したいイコライザーカーブを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す  
(☞ 音の調節 ⑧ 73 ページ)

## 3 イコライザー 13 バンド調節モードにする

AUDIO ボタンを押す

## 4 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

50、80、125、200、315、500、800  
1.25k、2k、3.15k、5k、8k、12.5k (Hz)

レベルを調節する

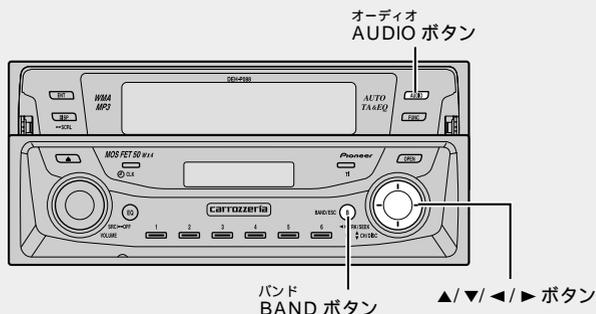
▲または▼ ボタンを押す

上：強めるとき  
下：弱めるとき



レベルは - 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。



## 音の調節 11

# サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。

### 位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

### カットオフ周波数について

選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

### スロープについて

スロープ（減衰の傾き）を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

## 1 サブウーファーモード 1にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節 67 ページ)

## 2 サブウーファーを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



### 3 位相を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : Normal (正相)
- ◀ : Reverse (逆相)



### 4 サブウーファーモード 2 にする

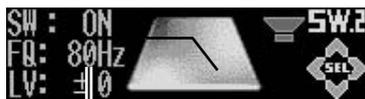
AUDIO ボタンを押す

### 5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数を選ぶとき

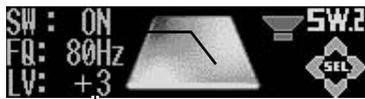


50、63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲または▼ ボタンを押す

- ▲ : レベルを大きくするとき
- ▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 24 ~ + 6 の範囲で調節できます。

### 6 サブウーファーモード 3 にする

AUDIO ボタンを押す

### 7 スロープを調節する

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

- 18 ↔ - 12 ↔ - 6 (dB/oct.)

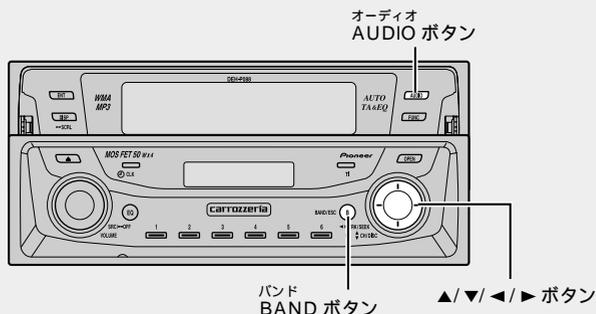


BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。

#### メモ

RCA 外部出力の設定 (☞ その他① 94 ページ)を “Rear” にした場合は、サブウーファー機能は ON/OFF できません。

サブウーファーモード1をOFFにしたときは、サブウーファーモード2、3には切り換わりません。

音の調節  
12

## イメージに合った演奏会場を再現する

SFC / BBE

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、BBEではレベルの調節をすることができます。

## SFC について

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールド コントロール)の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。StudioやClubなど、3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

## BBE について

BBEは、音楽再生時に発生する高調波成分の遅延、振幅の狂いを位相補正と高域ブーストを組み合わせることで、極めて原音に近い再生音にすることができます。このため、鮮明度が高く、ライブ演奏に近い自然な臨場感を再現することができます。

## 1 SFC モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節② 67 ページ)

## 2 音場プログラムを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF ↔ Studio ↔ Jazz.C ↔ Club ↔  
BBE ↔ OFF に戻る



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。

## 手順2でBBEを選んだとき

## 3 BBEのレベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：レベルを大きくするとき

▼：レベルを小さくするとき

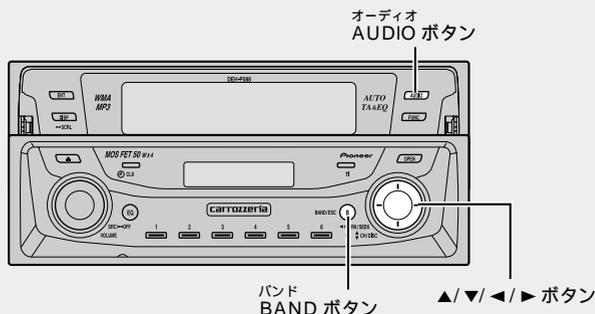


レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード1を解除してください。

## メモ

この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。

音の調節  
13

## 低い音をスピーカーから出力させない

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターを使うと、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。

## ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターを設定することにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。フロントスピーカーとリアスピーカーで別々に調節することができます。

## スロープについて

スロープ (減衰の傾き) を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

スロープを 0 dB/oct. (Pass) に設定すると、オーディオ信号はフィルター回路を回避するため、ハイパスフィルターは効果がなくなります。

## カットオフ周波数について

選んだ周波数より高い音域が各スピーカーから出力されます。

## ミュートについて

フロント/リアスピーカー (フィルター) をミュートすることができます。ミュートしたスピーカーからは、音が出なくなります。

## ハイパスフィルターを設定する

1 ハイパスフィルター  
モード 1 にする

AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから、AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節② 67 ページ)

HP F1 : フロントスピーカーを調節するとき  
HP R1 : リアスピーカーを調節するとき

## 2 スロープを調節する

◀または▶ ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。  
- 12 ↔ - 6 ↔ Pass (0) (dB/oct.)



### 3 ハイパスフィルター モード 2 にする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

HP F2 : フロントスピーカーを調節するとき

HP R2 : リアスピーカーを調節するとき

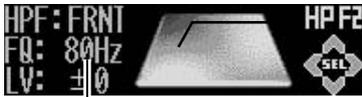
### 4 カットオフ周波数とレベルを 調節する

周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



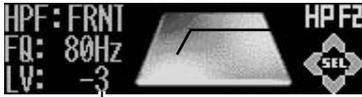
50、63、80、100、125、160、200 (Hz)  
の中から選ぶことができます。

レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 24 ~ ± 0 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節  
モード 2 を解除してください。

### スピーカーにミュートをかける

#### 1 ハイパスフィルター モード 1 にする

AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから、  
AUDIO ボタンを押して選ぶ

(☞ 音の調節 ② 67 ページ)

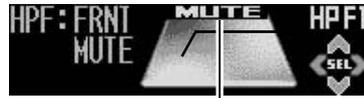
HP F1 : フロントスピーカーをミュートするとき

HP R1 : リアスピーカーをミュートするとき

#### 2 ミュートを ON にする

▼ ボタンを 2 秒以上押す

(▲ ボタンで OFF)

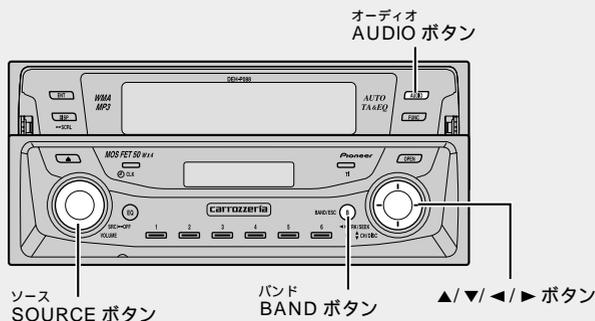


“ MUTE ” が表示されます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節  
モード 2 を解除してください。

#### メモ

ミュートを ON にした場合は、ハイパスフィルター  
モード 2 には切り換わりません。

音の調節  
14

## 各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

## 1 FMを受信し、FMの音量を確かめる

SOURCE ボタンを押す  
(☞ ここだけで④ 22 ページ)

## 2 調節したいソースに切り換える

SOURCE ボタンを押す  
(☞ ここだけで① 16 ページ)

## 3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを 2 秒以上押してから、AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節② 67 ページ)

## 4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード2を解除してください。

## メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター)の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 (☞ その他③ 89 ページ) は同じ設定になります。

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

## ASLについて

ASLとは、Automatic Sound Levelizer (オートマチック サウンド レベライザー) の略です。

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

## 1 ASLモードにする

AUDIO ボタンを2秒以上押してから、AUDIO ボタンを押して選ぶ

(☞ 音の調節② 67ページ)

## 2 ASLをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)

## 3 ASLの感度を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 感度を高くするとき

◀ : 感度を低くするとき



Low、Mid-Low、Mid、Mid-High、Highの中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード2を解除してください。

ASLがONのときASLインジケーターが表示されます。ASLの効果量は、効果量インジケーターで表示されます。

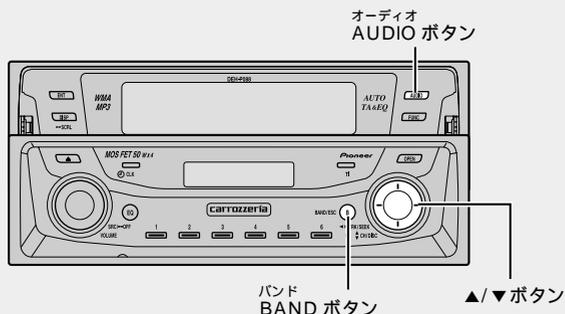


効果量インジケーター

## メモ

音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。

この機能が働いて音量が上がりがすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときはVOLUMEで音量を下げてください。



音の調節

16

## オートイコライザーをON/OFFする

Auto EQ

Auto TA&EQ (オートタイムアライメント&イコライジング)で作成した、オートイコライザーカーブをON/OFFすることができます。

### 1 オートイコライザーモードにする

AUDIO ボタンを2秒以上押してから、AUDIO ボタンを押して選ぶ  
(☞ 音の調節② 67ページ)

### 2 オートイコライザーをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モード2を解除してください。

#### メモ

Auto TA&EQ (☞ 音の調節⑩ 86ページ)を行っていないときは、オートイコライザーモードの操作はできません。

音の調節

17

## オートタイムアライメント&イコライジングを行う前に

Auto TA&amp;EQ

Auto TA&EQ (オートタイムアライメント&イコライジング)を行う前に必ずお読みください。



## 警告

走行中に Auto TA&EQ を行わない



禁止

自動車が走行中に Auto TA&EQ を行わないでください。Auto TA&EQ 機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

#### スピーカー破損防止について

次の状態で Auto TA&EQ を行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。Auto TA&EQ を行う前に、よく確認してください。  
スピーカーの接続を誤っている場合  
(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)  
スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

## Auto TA&amp;EQ 機能について

車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機の Auto TA&EQ 機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、Auto TA&EQ により乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。) また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の位置や全体的なバランスを調整します。

## Auto TA&amp;EQ を行う前にお読みください

Auto TA&EQ は、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すか電源を切ってから Auto TA&EQ を行ってください。計測音以外の音(車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など)によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。

Auto TA&EQ は、必ず付属のマイクを使用して行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、Auto TA&EQ が実行できなったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。

フロントスピーカーが接続されていない場合は、Auto TA&EQ が実行できません。

フロントスピーカーをミュートしている場合は、Auto TA&EQ が実行できません。

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていると、Auto TA&EQ が実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターは OFF にして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。

Auto TA&EQ 測定時に算出したタイムアライメントの値は、次の場合に実際の距離と異なることがあります。計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。

- \* 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
- \* パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。

Auto TA&EQ を行うと、各モードの内容が次のように変更されます。

- \* 前後左右の音量バランス調節(フェーダー/バランス)の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
- \* イコライザーカーブは、フラット (FLAT) になります。
- \* リスニングポジションセクターは、Front Right に設定されます。(ただし、Front Left に設定していたときだけは、Front Left のままになります。)
- \* サブウーファーを接続している場合、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。(サブウーファー出力を OFF にしていても、自動的に ON になり調節されます。)

## Auto TA&amp;EQ の調節内容について

一度 Auto TA&EQ を行ったあとに、再度 Auto TA&EQ を行うと、前の Auto TA&EQ の調節内容は消去されます。

## オートタイムアライメント&amp;イコライジングを行う

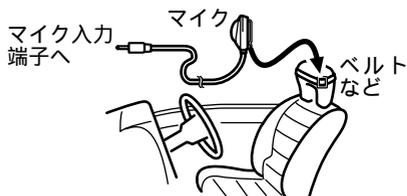
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

## 1 車の環境を整える

静かな所に車を停車させる  
ドア、窓、サンルーフなどを閉める  
車のエンジンを停止させる

## 2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属のマイクを前向きに固定する



## ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

## 3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

## ご注意

車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってAuto TA&EQが実行できないことがあります。

## 4 本機の電源を入れる

SOURCE ボタンを押す

## 5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクターモードにして、乗車位置をマイクをセットした座席に設定する。

(☞ 音の調節④ 69 ページ)

## メモ

乗車位置を Front Seat Right または Front Seat Left 以外に設定したときは、Auto TA&EQ を始めると、強制的に Front Seat Right に再設定されます。

## 6 本機の電源を切る

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す

## 7 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す(もう一度押すと閉まる)

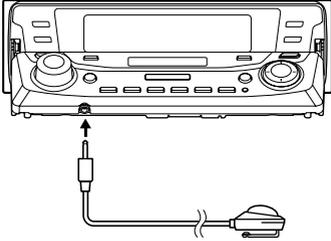
## 8 Auto TA&amp;EQ 設定モードにする

AUDIO ボタンを 2 秒以上押す



## 9 マイクを本機に接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続する



## 10 Auto TA&EQを始める

### ▲ ボタンを押す

BAND ボタン以外のいずれかのボタンを押すと途中解除します。



## 11 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、10秒以内に車外に出て、ドアを閉める  
計測音(ノイズ)が各スピーカーから出力され、Auto TA&EQが始まります。

## 12 Auto TA&EQが自動的に終了する



Auto TA&EQ操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、BAND ボタンを押して電源を切り、OPEN ボタンを押してフロントパネルを元の位置に戻してください。



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

### メモ

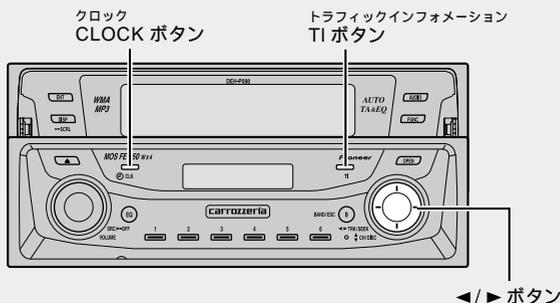
Auto TA&EQを途中でやめなくなったときは、BAND ボタンを押してください。強制的に解除して、電源OFFになります。

マイクをセットする位置により、Auto TA&EQの調節内容が変わります。

お好みにより、助手席にセットすることもできます。

マイクを本機に接続しているときにOPEN ボタンを押しても動作しません。(警告音が出力されます。)

マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



その他  
1

## 瞬時に音量を小さくする

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

### 1 瞬時に音量を小さくする

リモコンの ATT ボタンを押す

(☞ はじめに① 10 ページ)

ボタンを押すごとに ON/OFF します。



アッテネーターが ON のときに点滅します。

アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。

その他  
2

## 時計を表示させる

時計表示

本機の電源の ON/OFF にかかわらず、時計を本機の LCD 画面に表示させることができます。

### 1 時計を表示する

CLOCK ボタンを押す

ボタンを押すごとに ON/OFF します。



時計表示

メモ

時計は、本機の LCD 画面に表示されます。エンタテインメント表示を、エンタテインメントクロック (☞ その他⑦ 98 ページ) に設定したときには、OEL 画面にも表示されます。

本機の電源が ON の場合は、時計表示のときに他の操作をすると、時計表示は一度解除されます。その場合、エンタテインメントクロック画面は約 4 秒後、フロントパネルが CLOSE 状態の LCD 画面は約 25 秒後に、時計表示に戻ります。

時計を合わせるには (☞ その他⑥ 91 ページ)

その他

3

## 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

### 1 交通情報を受信する

TIボタンを押す

AM 1,620 kHzの交通情報を受信します。

### 2 放送に合わせて周波数を切り換える

◀または▶ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするとき

◀ : 1,620 kHzにするとき



受信周波数

### 3 交通情報の受信をやめる

TIボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

#### メモ

この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。

交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。交通情報を受信すると、SFC (音の調節 78ページ) がOFFになり、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとSFCおよびイコライザーカーブは、もとの状態に戻ります。

その他

4

## よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。内蔵CD・WMA/MP3/WAV・マルチCD・DVDでポーズ、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。

内蔵CD・WMA/MP3/WAV・マルチCD・DVDのとき

### 1 再生を一時停止する

リモコンのDFボタンを押す

(☞ はじめに 10ページ)

ボタンを押すごとに機能がON/OFFします。

(☞ 内蔵CD 29ページ、☞ WMA/MP3/WAV 38ページ、☞ マルチCD 63ページ、☞ DVDの取扱説明書)

ラジオのとき

### 1 BSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す

(☞ はじめに 10ページ)

BSMが始まります。

(☞ ラジオ 47ページ)

#### メモ

BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

テレビのとき

### 1 BSSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押す

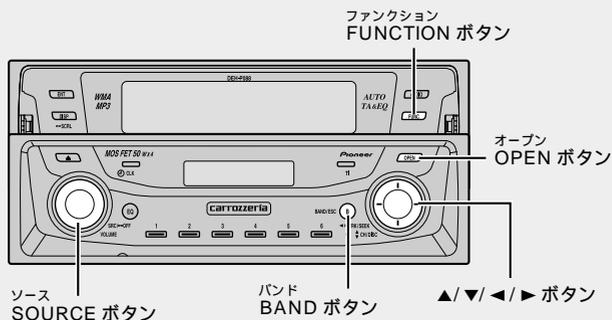
(☞ はじめに 10ページ)

BSSMが始まります。

(☞ テレビの取扱説明書)

#### メモ

BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。



その他  
5

## 初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

### 1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す  
(☞ ここだけで① 16 ページ)

輝度調整モード (☞ その他⑩ 93 ページ)

RCA 外部出力設定モード  
(☞ その他⑪ 94 ページ)

### 2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

デジタルアッテネータ設定モード  
(☞ その他⑫ 95 ページ)

ミュート設定モード (☞ その他⑬ 95 ページ)

### 3 初期設定モードにする

電源が OFF のときに、FUNCTION  
ボタンを 2 秒以上押す

デモンストレーション設定モード  
(☞ その他⑭ 96 ページ)

画面反転機能設定モード  
(☞ その他⑮ 96 ページ)

### 4 初期設定モードを 切り換える

FUNCTION ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

連続スクロール設定モード  
(☞ その他⑯ 97 ページ)

時計調整モードに戻る

#### メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源が OFF になります。)

時計調整モード (☞ その他⑥)

外部機器設定 (AUX) モード (☞ その他⑦)

ディマー設定モード (☞ その他④ 93 ページ)

その他

6

## 時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

### 1 時計調整モードにする

電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押す(⇨ 他⑥)



### 2 時計の設定をする

時または分を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

押すごとに時または分が切り換わります。

時刻を合わせる

▲または▼ ボタンを押す

▲ : 時刻を進めるとき

▼ : 時刻を戻すとき

分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

その他

7

## 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

### 1 外部機器設定 (AUX) モードにする

電源OFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ(⇨ 他⑥)

### 2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

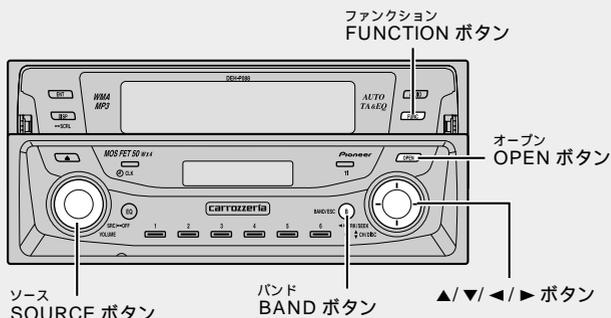
### 3 ソースをAUXにする

SOURCE ボタンを押して選ぶ

(⇨ ここだけで① 16 ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。



その他  
8

## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

### 1 ソースを AUX にする

SOURCE ボタンを押して選ぶ  
(☞ ここだけで① 16 ページ)



### 2 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す(もう一度押すと閉まる)

### 3 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す



### 4 外部機器の名称を入力し、記憶させる (☞ マルチ CD① 58 ページ)

CD タイトル入力の手順 3 ~ 5 を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。

外部機器の名称は、8 文字まで入力することができます。

例 “ DAT ” を入力した場合



“ AUX ” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

#### メモ

外部機器の名称にカタカナを使用した場合、フロントパネルを CLOSE 状態にしたときの LCD 画面には “ AUX ” と表示されます。  
(LCD 画面には、カタカナは表示されません。)

## 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

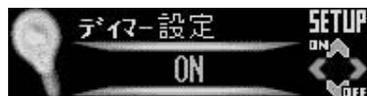
夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなります。

### 1 ディマー設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ(☞ その他⑨ 90ページ)

### 2 ディマーの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

#### メモ

車のライトをONにしてディマーが働いているときでも、輝度調整モード(☞ その他⑩)でディスプレイの明るさを“00”に調節しているときは、ディスプレイの明るさを変えることはできません。

## ディスプレイの明るさを調節する

ブライト

ディスプレイの明るさを調節することができます。

### 1 輝度調整モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ(☞ その他⑨ 90ページ)

### 2 明るさを調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

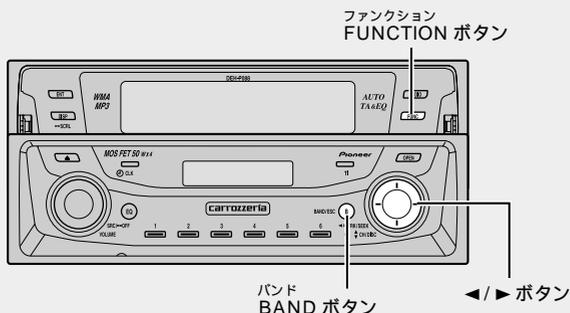
▶ : 明るくしたいとき

◀ : 暗くしたいとき



00 ~ 31の範囲で調節できます。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他  
**11**

## RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

外部出力

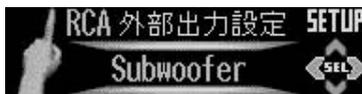
本機のRCA外部出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

### 1 RCA 外部出力設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他⑥ 90ページ)

### 2 接続するスピーカーに合わせて選択する

- ◀または▶ボタンを押す
- ▶ : リアスピーカー (Rear) を接続するとき
- ◀ : サブウーファー (Subwoofer) を接続するとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

### メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (☞ 音の調節① 76ページ) はできません。

## 音の歪みを補正する

### デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (☞ 音の調節 10 75 ページ) による音の歪みをなくすることができます。

#### デジタルアッテネーターについて

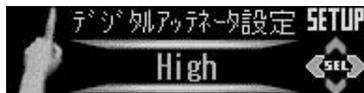
イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を LOW に切り換えてください。

### 1 デジタルアッテネーター設定モードにする

電源 OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ その他 9 90 ページ)

### 2 設定を選ぶ

- ◀ または ▶ ボタンを押す
- ▶ : High を選ぶとき
- ◀ : Low を選ぶとき



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

## ミュート/ アッテネート切り換え

### ミュート / アッテネート設定

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートするかアッテネートするかを選ぶことができます。

#### ミュート/アッテネート機能について

ミュート機能のある製品 (パイオニア製ナビゲーションシステムなど) と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

TEL mute : 音量 " 0 "

10dB ATT : もとの音量の約 1/3

20dB ATT : もとの音量の約 1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

### 1 ミュート設定モードにする

電源 OFF のときに FUNCTION ボタンを 2 秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ その他 9 90 ページ)

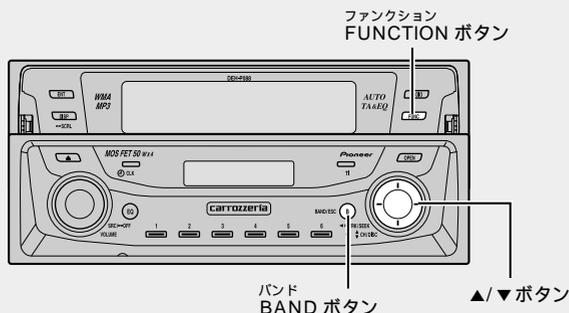
### 2 設定を選ぶ

- ◀ または ▶ ボタンを押す



TEL mute、10dB ATT、20dB ATT の中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



その他  
14

## フィーチャーデモを ON/OFF する

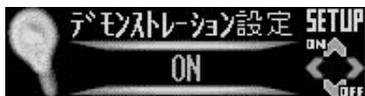
フィーチャーデモのON/OFFをすることができます。

### 1 デモンストレーション設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他 90 ページ)

### 2 デモンストレーションを ON にする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

#### メモ

フィーチャーデモは、本機がOFFのときに、6ボタンを押すことでもON/OFFすることができます。

その他  
15

## リバーモードを ON/OFF する

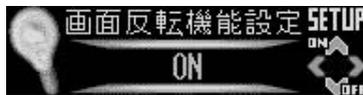
リバーモードのON/OFFをすることができます。

### 1 画面反転機能設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ その他 90 ページ)

### 2 画面反転機能を ON にする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

#### メモ

リバーモードは、本機がOFFのときに、5ボタンを押すことでもON/OFFすることができます。

# タイトルスクロールのしかたを切り換える

## 連続スクロール設定

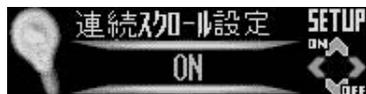
連続スクロール機能をONにすると、CDのタイトルなどを繰り返しスクロールさせることができます。一度だけスクロールさせたいときは、この機能をOFFにしてください。(初期設定ではOFFになっています。)

### 1 連続スクロール設定モードにする

電源OFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (⇔ その他 90 ページ)

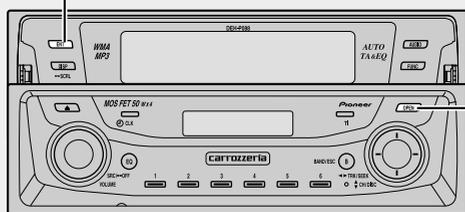
### 2 連続スクロール機能をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

エンタテインメント  
ENTERTAINMENT ボタン



オープン  
OPEN ボタン

その他  
17

## エンタテインメントを表示させる

エンタテインメント表示

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

### エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、音楽などを聞いているときに、ディスプレイにいろいろな動画などを表示する機能です。

### 1 フロントパネルを開ける

OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

### 2 エンタテインメントを表示する

ENTERTAINMENT ボタンを押す  
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

#### FORM 1

バックグラウンドビジュアル1

バックグラウンドビジュアル2

バックグラウンドビジュアル3

バックグラウンドビジュアル4

バックグラウンドビジュアル5

バックグラウンドピクチャー1

バックグラウンドピクチャー2

バックグラウンドピクチャー3

バックグラウンドピクチャー4

バックグラウンドピクチャー5

エンタテインメントOFF

スペクトラムアナライザー

レベルメーター

レベルインジケーター1

レベルインジケーター2

エンタテインメントクロック

ムービースクリーンモード1 (サンセット)

ムービースクリーンモード2 (レッドプラネット)

バックグラウンドビジュアル1に戻る

FORM 2

壁紙 (文字色) 1

壁紙 (文字色) 2

壁紙 (文字色) 3

スペクトラムアナライザー

レベルメーター

レベルインジケータ-1

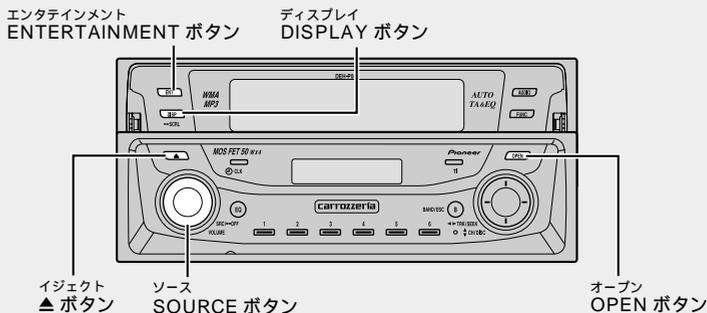
レベルインジケータ-2

エンタテインメントクロック

ムービースクリーンモード1 (サンセット)

ムービースクリーンモード2 (レッドプラネット)

壁紙 (文字色) 1 に戻る



その他  
18

## エンタテインメント表示を書き換える

表示データ書き換え

本機のエンタテインメント表示のデータをパソコンで作成したデータやダウンロードしたデータに書き換えることができます。書き換えは、書き換えたいデータを記録したCD-Rで行います。詳細は、下記のホームページのアドレスにアクセスしてください。

<http://www.pioneer.co.jp/car/pclink3a/>

### 1 電源を OFF にする

SOURCE ボタンを 1 秒以上押す  
(☞ ここだけで 16 ページ)

### 2 フロントパネルを開ける

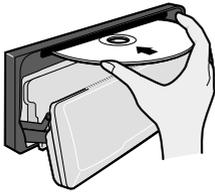
OPEN ボタンを押す  
(もう一度押すと閉まる)

### 3 表示データ書き換えモードにする

ENTERTAINMENT ボタンと  
DISPLAY ボタンを同時に 2 秒以上押す  
LCD 画面に “ DOWNLOAD ” と表示され、  
自動的に EJECT 位置までフロントパネルが  
動きます。(CD がセットされている場合、自  
動的に CD が出てきます。)

## 4 表示データを書き換える

表示データを記録した CD-R を CD 挿入口に差し込む



自動的にエンタテインメント表示のデータ書き換えが始まります。書き換え中は、“Now loading” が表示されます。

書き換えが完了したら、“Finished” と表示されます。

表示データの書き換えには、しばらく時間がかかります。

## 5 CD-R を取り出して、表示データ書き換えモードを終了する

### ▲ ボタンを押す

CD-R が出てきて、電源 OFF になります。

出てきた CD-R はすぐに取り出して、保管してください。

### メモ

表示データ書き換えモード中は、本機の ▲ ボタン以外で操作することはできません。

表示データ書き換えモードを途中で解除したいときは、▲ ボタンを押してください。

表示データ書き換えモード中は、フロントパネルを閉めたり、車のイグニッションスイッチ (または ACC) を OFF にしないでください。

## 使用できるCDについて

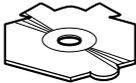
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。

ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。

特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）

直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。

CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）

本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）

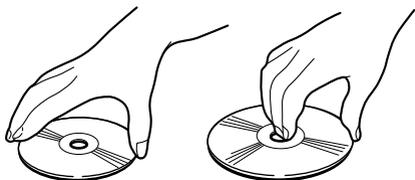
ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。

CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。

CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

## 取り扱い上のご注意

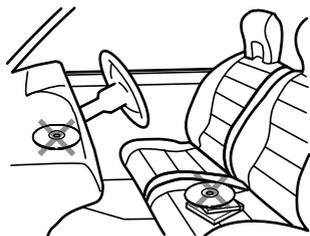
CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



CDにキズを付けないでください。  
CDにシールなどを貼り付けしないでください。

## 保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

## CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

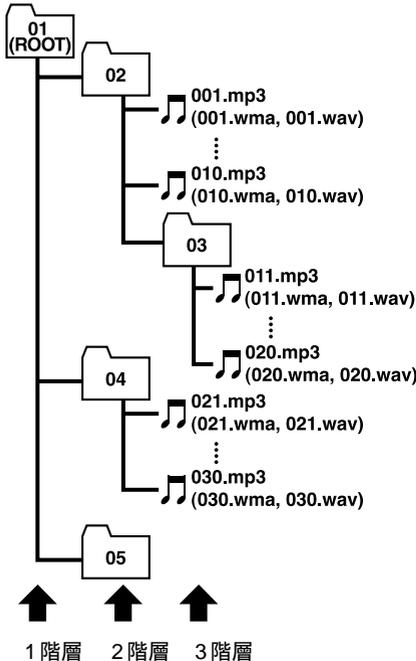
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

### メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## フォルダーとWMA/MP3/WAV ファイルについて

WMA、MP3およびWAVファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



本機はWMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ISO9660のレベル1、レベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(⇒ その他② 112ページ)

本機はマルチセッション (⇒ その他② 112ページ) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。

パケットライト (⇒ その他② 112ページ) には対応していません。

m3u (⇒ その他② 113ページ) のプレイリストには対応していません。

MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。

ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3、.wma、.wav) を含めて32文字です。また、フォルダー名の最大表示文字数は32文字です。

拡張フォーマット (Romeo、Joliet) (⇒ その他② 112ページ) に準拠して記録されたファイルの場合、先頭から32文字までの表示に対応しています。

再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

### メモ

フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。

CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます (⇒ ここだけで④ 21ページ)。WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。

WMA、MP3およびWAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)

8階層までのWMA、MP3およびWAVファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。

ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

## WMA とは？

「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7 以降を使用してエンコードすることができます。

### ご注意

WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

## 再生できる WMA ファイルについて

### ご注意

WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。

本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子 (.wma) を付けないでください。

本機では、Windows Media Player Ver.7 / 7.1 / 8 / 9 を使用してエンコードした WMA ファイルを再生することができます。

再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 32/44.1/48 kHz です。

一般的に WMA ファイルは、ビットレート (☞ その他 112 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、CBR (固定ビットレート) 時は、48kbps ~ 320kbps、VBR (可変ビットレート) 時は、48kbps ~ 384kbps の WMA ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたファイルを再生したときは、“TRK SKIPPED” と表示され、そのファイルの再生がスキップされます。

ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されている場合は、“PROTECT” と表示され、そのディスクの再生はできません。

本機は以下のフォーマットに対応していません。

- \* Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
- \* Windows Media Audio 9 Lossless
- \* Windows Media Audio 9 Voice

## MP3 とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

(⇒ その他④ 113 ページ)

## 再生できる MP3 ファイルについて

### ご注意

MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。

本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けないでください。

ID3 Tag (⇒ その他④ 112 ページ) の Ver1.0、1.1、2.2、2.3 および 2.4 のアルバム名 (ALBUM として表示)、曲名 (TRK TTL として表示)、アーティスト名 (TRK ART として表示) の表示に対応しています。なお、ID3 Tag の Ver1.X と Ver 2.X が混在している場合は、Ver 2.X が優先されます。32/44.1/48 kHz の MP3 ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しています。(なお、再生可能なサンプリング周波数は 16/22.05/24/32/44.1/48 kHz です。)

一般的に MP3 ファイルは、ビットレート (⇒ その他④ 112 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps ~ 320kbps の MP3 ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps 以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

## WAV とは？

Waveformの略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

## 再生できる WAV ファイルについて

### ご注意

WAV ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wav) を付けてください。

本機は、拡張子 (.wav) が付いているファイルを WAV ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAV ファイル以外には拡張子 (.wav) を付けないでください。

本機は、LPCM 形式および MS ADPCM 形式でエンコードされた WAV ファイルの再生に対応しています。

本機は、LPCM 形式では 16/22.05/27/32/44.1/48 kHz、MS ADPCM 形式では 22.05/44.1 kHz のサンプリング周波数で記録されたファイルの再生に対応しています。サンプリング周波数の、全ての桁は表示されないことがあります。

一般的に WAV ファイルは、量子化ビット数 (⇒ その他④ 112 ページ) が高いほど音質は良くなります。本機は、LPCM 時は 8/16 bit、MS ADPCM 時は 4 bit の量子化ビット数での再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんで頂くためには、できるだけ高い量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 故障かな？と思ったら

故障かな？と  
思ったら  
修理を依頼される前に、  
次の表の内容をチェック  
してください。

チェックしても  
直らないときは  
本機をリセットしてくだ  
さい。(☞ はじめに③ 14  
ページ)

それでも  
直らないときは  
「保証書とアフターサー  
ビス」(☞ その他④ 107  
ページ)をお読みになり、  
修理を依頼してください。

### 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう 一度確認してください。(☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズ と同じ容量のものと同交換してください。 (☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下けている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②～⑤ 19～25ページ)
	アッテネーターがONになっ ている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ その他① 88ページ)
	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 68ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 68ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節が 適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節③ 68ページ)
ディスプレイが反転表示 する。	リバースモードがONになっ ている。	リバースモードを解除してください。 (☞ その他⑫ 96ページ)

## CD、WMA/MP3/WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDに交換してください。良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他⑩ 103ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (☞ その他⑩ 103ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 18ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	EJECT状態のときに、▲ボタンを2秒以上押すと、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 23ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 23ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 23ページ)

## こんなメッセージが表示されたら

### CD、WMA/MP3/WAVのエラー表示

メッセージ(エラー番号)	原因	処置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他⑩ 103 ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-12」「ERROR-17」	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは録音してからお使いください。
「ERROR-22」「ERROR-23」	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	CDを交換してください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-17」 「ERROR-30」「ERROR-50」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ設定されているとき。	CDを交換してください。
「No audio」	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3/WAV ファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
「TRK SKIPPED」	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生したとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
「PROTECT」	ディスク内のすべてのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

### オートイコライジングのエラー表示

メッセージ	原因	処置
「マイクを確認」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。(☞ 音の調節⑩ 86 ページ)
「FLスピーカーを確認」 「FRスピーカーを確認」 「Fスピーカーを確認」 「サブウーファーを確認」 「RLスピーカーを確認」 「RRスピーカーを確認」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。(☞ 取付説明書)
		付属のマイクを正しくセットしてください。なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
「騒音大きすぎます」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 付属のマイクを正しくセットしてください。

## エンタテインメント表示書き換えのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CD ERROR」	何らかの原因で情報を正しく読み取れなかったとき。 ディスクに異常 (データの損傷など) があるとき。	ディスクを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のディスクと交換してください。
「ERROR-A0」	電気系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。
「DISC ERROR」	書き換え用のデータが入っていないとき。	ディスクを交換してください。
「DOWNLOAD ERROR」 「TRANSMIT ERROR」	データ書き換えができないとき。	CD-ROMを取り出して、もう一度データを書き換えてください。

## パケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

## ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3 など) の比較では、一般的に数字が大きい方がよい音となります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されています。

## 量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つで、量子化ビット数が大きいほど、音質は良くなります。しかし、量子化ビット数が大きくなるほどデータサイズが大きくなるため、より多くの記憶容量が必要となります。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報には、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660 フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

### レベル1 :

ファイル名は、8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字)

### レベル2 :

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は8つ以下

### 拡張フォーマット

Joliet :

ファイル名は、最大で64文字

Romeo :

ファイル名は、最大で128文字

### m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

### MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer3」の略で、ISO (国際標準化機構) のワーキンググループ (MPEG) の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

### MS ADPCM

「Microsoft adaptive differential pulse code modulation」の略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

### VBR (ブイビーアール)

「Variable Bit Rate (可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR (固定ビットレート) が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変にすることで、音質を優先した圧縮が可能となります。

### WAV

「Waveform」の略で、Windows®での標準音声フォーマットです。

### WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

### オーディオ/DSP部

最大出力 : 50 W × 4  
 定格出力 : 22 W × 4  
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)

負荷  
 インピーダンス : 4  
 (4 ~ 8 使用可能)

プリアウト  
 最大出力レベル : 2.2 V  
 出力  
 インピーダンス : 1 k  
 ラウドネス  
 コントラ : 10 dB (100 Hz)  
 6.5 dB (10 kHz)  
 (ボリューム : -30 dB)

イコライザー  
 (13バンド  
 グラフィック  
 イコライザー)周波数 : 50/80/125/200/  
 315/500/800/1.25k/  
 2k/3.15k/5k/8k/  
 12.5k Hz  
 調整幅 : ± 12 dB (2 dB)

オートイコライザー  
 (13バンド  
 グラフィック) : 周波数 (F + R + SW) :  
 50/80/125/200/  
 315/500/800/1.25k/  
 2k/3.15k/5k/8k/  
 12.5k Hz  
 調整幅 : - 12 dB ~ + 6 dB (2 dB)

ハイパス  
 フィルター  
 (FRONT/REAR) : 周波数 : 50/63/80/100/  
 125/160/200 Hz  
 スロープ : 0 (Pass)、- 6、  
 - 12 dB/oct.  
 調整幅 : - 24 dB ~ 0 dB/Mute  
 (1 dB)

サブウーファ  
 出力 : 周波数 : 50/63/80/100/  
 125/160/200 Hz  
 スロープ : - 6、- 12、  
 - 18 dB/oct.  
 調整幅 : - 24 dB ~ + 6 dB  
 (1 dB)  
 位相 : NORMAL/REVERSE

### CDプレーヤー部

形式 : コンパクトディスク  
 オーディオシステム

使用ディスク : コンパクトディスク  
 信号  
 フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz  
 量子化ビット数 : 16ビット直線

周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)  
 S/N : 99 dB (1 kHz)  
 (IHF-A ネットワーク)

ダイナミック  
 レンジ : 95 dB (1 kHz)  
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MP3  
 デコーディング  
 フォーマット : MPEG-1 & 2 Audio Layer-3  
 WMA  
 デコーディング  
 フォーマット : Ver. 7、7.1、8、9 (2ch Audio)  
 WAV  
 シグナル  
 フォーマット : Linear-PCM、MS ADPCM

### FMチューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz  
 実用感度 : 8 dBf (0.7 μV/75、  
 モノラル、S/N : 30 dB)

S / N 50 dB  
 感度 : 10 dBf  
 (0.9 μV/75、モノラル)

S / N : 75 dB (IHF-A ネットワーク)  
 高調波歪率 : 0.3 %  
 (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)  
 0.1 %  
 (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (± 3 dB)  
 ステレオ  
 セパレーション : 45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

---

## AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)  
実用感度 : 18  $\mu$ V (S/N : 20 dB)  
S / N : 65 dB (IHF-A ネットワーク)

---

## 共通部

使用電源 : DC 14.4 V  
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)  
アース方式 : マイナスアース方式  
最大消費電流 : 10.0 A  
外形寸法  
(取付寸法) : 178 (W)  $\times$  50 (H)  $\times$  162 (D) mm  
(ノーズ寸法) : 170 (W)  $\times$  44 (H)  $\times$  23 (D) mm  
質量 : 1.7 kg (コードユニット含まず)

---

## 付属品

コードユニット : 2  
取付ネジ類 : 1 式  
マイク : 1  
リモコン : 1  
リチウム電池  
(CR2025) : 1  
取扱説明書 : 1  
取付説明書 : 1  
安全上のご注意 : 1  
保証書 : 1  
ご相談窓口・  
修理窓口のご案内 : 1

---

### メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障がどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

### ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

< 下記窓口へのお問い合わせ時のご注意 >

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

カーオーディオ/カーナビゲーション製品のご相談窓口	☎	<b>0070-800-8181-11</b>
	【一般電話】	<b>03-5496-8016</b>
家庭用オーディオ/ビジュアル製品 (PDP・DVDなど)のご相談窓口	☎	<b>0070-800-8181-22</b>
	【一般電話】	<b>03-5496-2986</b>
カタログのご請求窓口	☎	<b>0070-800-8181-33</b>
カタログ請求とメールサービス登録のご案内	<a href="http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html">http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html</a>	
ファックス受付		<b>03-3490-5718</b>

## 部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受付センターへお問い合わせください。

### 部品受付センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話	☎	<b>0120-5-81095</b>
	【一般電話】	<b>0538-43-1161</b>
ファックス	☎	<b>0120-5-81096</b>

## 修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話	☎	<b>0120-5-81028</b>
	【一般電話】	<b>03-5496-2023</b>
ファックス	☎	<b>0120-5-81029</b>

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話	【一般電話】	<b>098-879-1910</b>
ファックス		<b>098-879-1352</b>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2003

< KYMZX > < 03L0000 > < CRA3579-A/N >